

令和4年度 地域経済動向調査報告書

2022年10月

遠田商工会

<目次>

I. 調査概要	2
II. 調査結果報告	
1. 回答事業所の属性	3
2. 経営状況について	9
3. 現在直面している課題	19
4. 新型コロナの影響	22
5. DX化に関する取り組みについて	27
6. 原材料高騰の影響について	30
7. 本会に対する要望	37
III. 調査票	38

I. 調査概要

1. 調査の目的

本調査結果を本会が事業者に経営支援を行う際など、あらゆる機会を捉えて活用するとともに、広く情報発信することにより、新たな支援先の掘り起こしやアンケートデータの蓄積を行い、経営状況の分析、事業計画の策定、新たな需要の開拓等の個社支援策を講じるために実施する。

加えて、今後の事業所支援に繋げていくことを目的に、新型コロナウイルス感染症の影響やDXへの取り組み、原材料高騰に関する影響について調査を行う。

2. 調査の対象

本会会員事業者

3. 調査数

対象者数 815 事業者

回答数 146 票 (回収率 17.9%)

4. 調査方法

宅配便にてアンケート用紙を送付。所定の調査項目に基づき調査を実施し、返信用封筒にて回収。

5. 調査期間

令和4年8月3日(水)～令和4年9月2日(金)

6. 調査項目

- ①経営状況
- ②現在直面している課題
- ③新型コロナウイルス感染症の影響
- ④DXへの取り組みについて
- ⑤物価高騰の影響

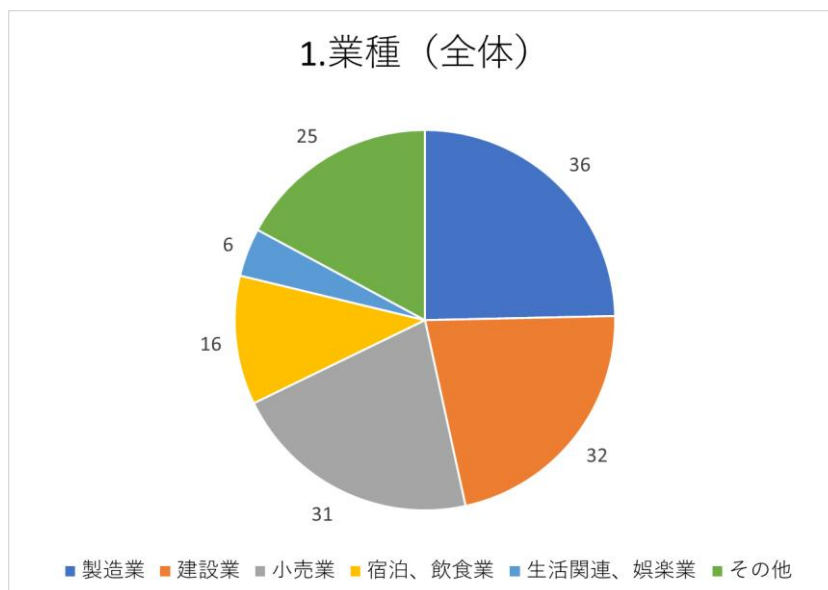
7. その他

- ・今回調査データだけではなく、過去6年間のデータを活用している箇所がございます。
- ・端数処理は四捨五入しておりますので、必ずしも100%になりません。
- ・設問によっては一部無回答の事業所があるため、大元の回答数とは数が異なる場合がございます。
- ・景況についてはDIを使用しております。DI (diffusion indexes) とは、景気動向指数で、各調査項目の増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示したものです。
- ・本調査票は、ご協力いただいた企業様のアンケート結果であるので、必ずしも当地区の実態に即しているとはかぎりませんので、予めご了承ください。

Ⅱ. 調査結果報告

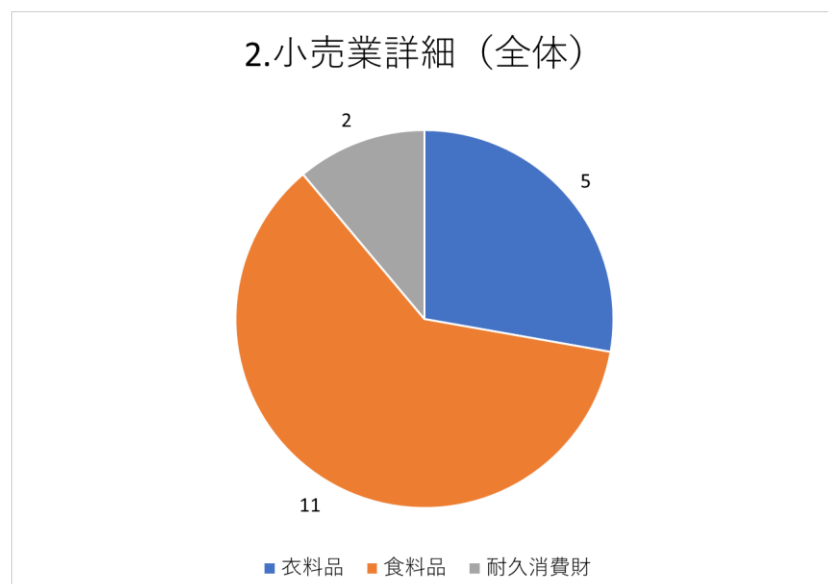
1. 回答事業所の属性

(1) 地区、業種



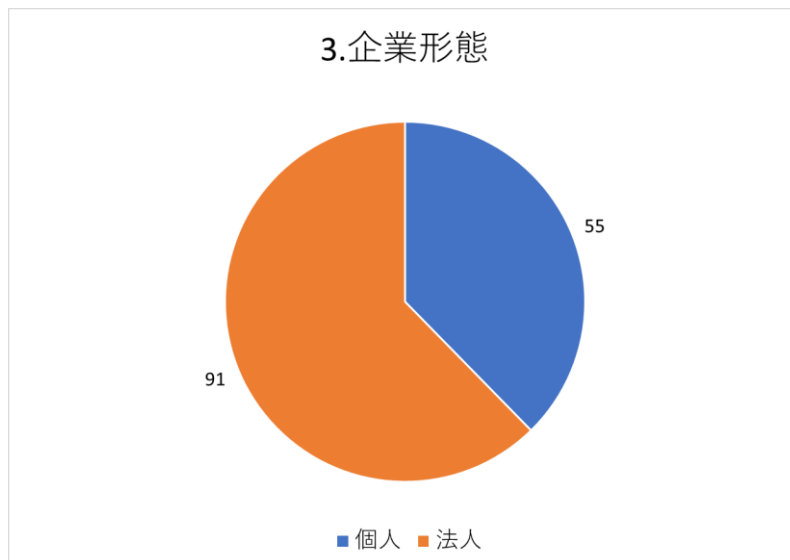
1.地区、業種	製造業	建設業	小売業	宿泊、飲食業	生活関連、娯楽業	その他	合計
1 小牛田	15	10	13	8	2	15	63
2 南郷	7	3	7	4	0	2	23
3 涌谷	14	19	11	4	4	8	60
合計（業種）	36	32	31	16	6	25	146

(2) 小売業詳細



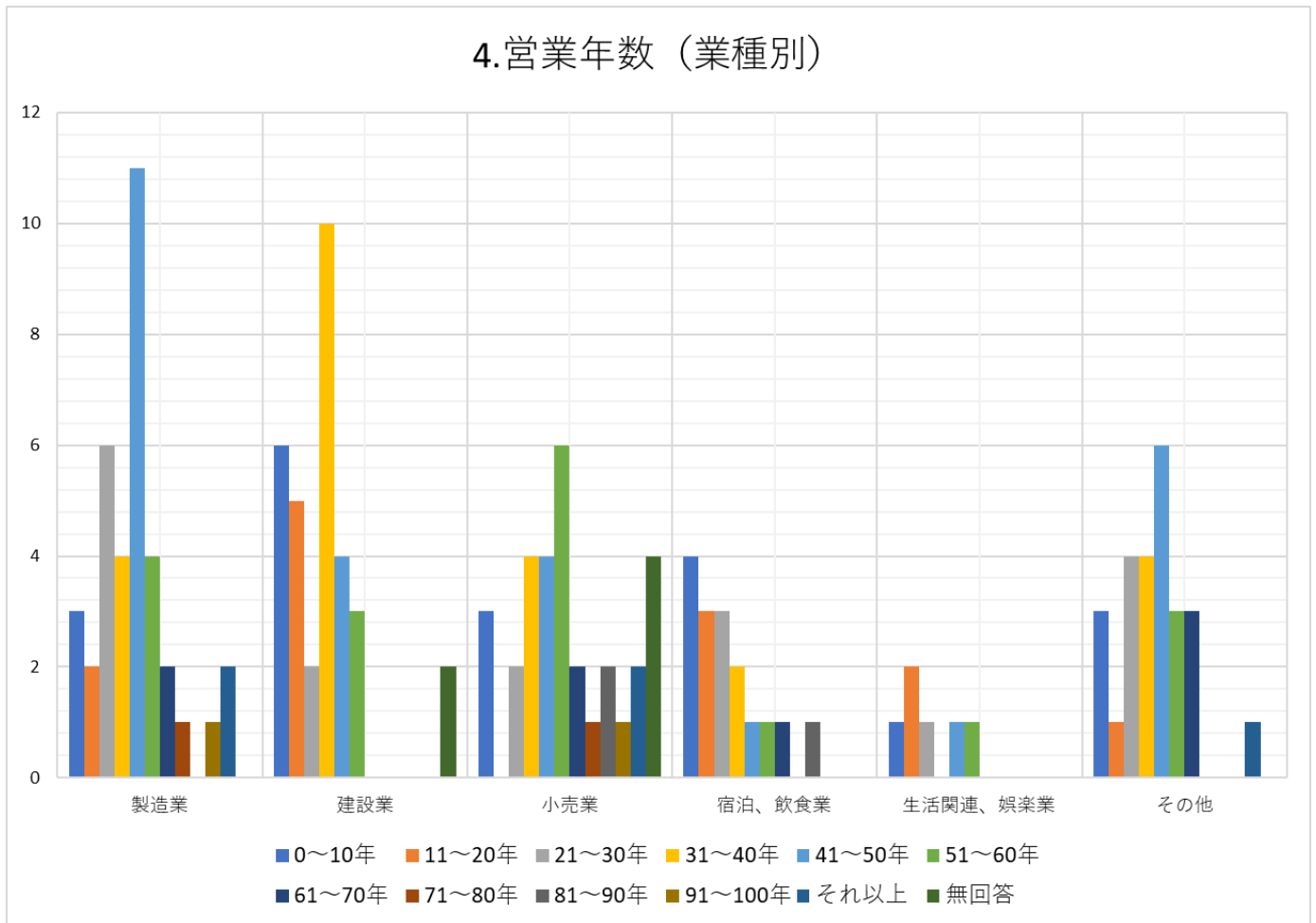
2.小売業詳細地区別	小牛田	南郷	涌谷	合計
1 衣料品	3	0	2	5
2 食料品	4	5	2	11
3 耐久消費財	1	0	1	2
合計（地区）	8	5	5	18

(3) 企業形態



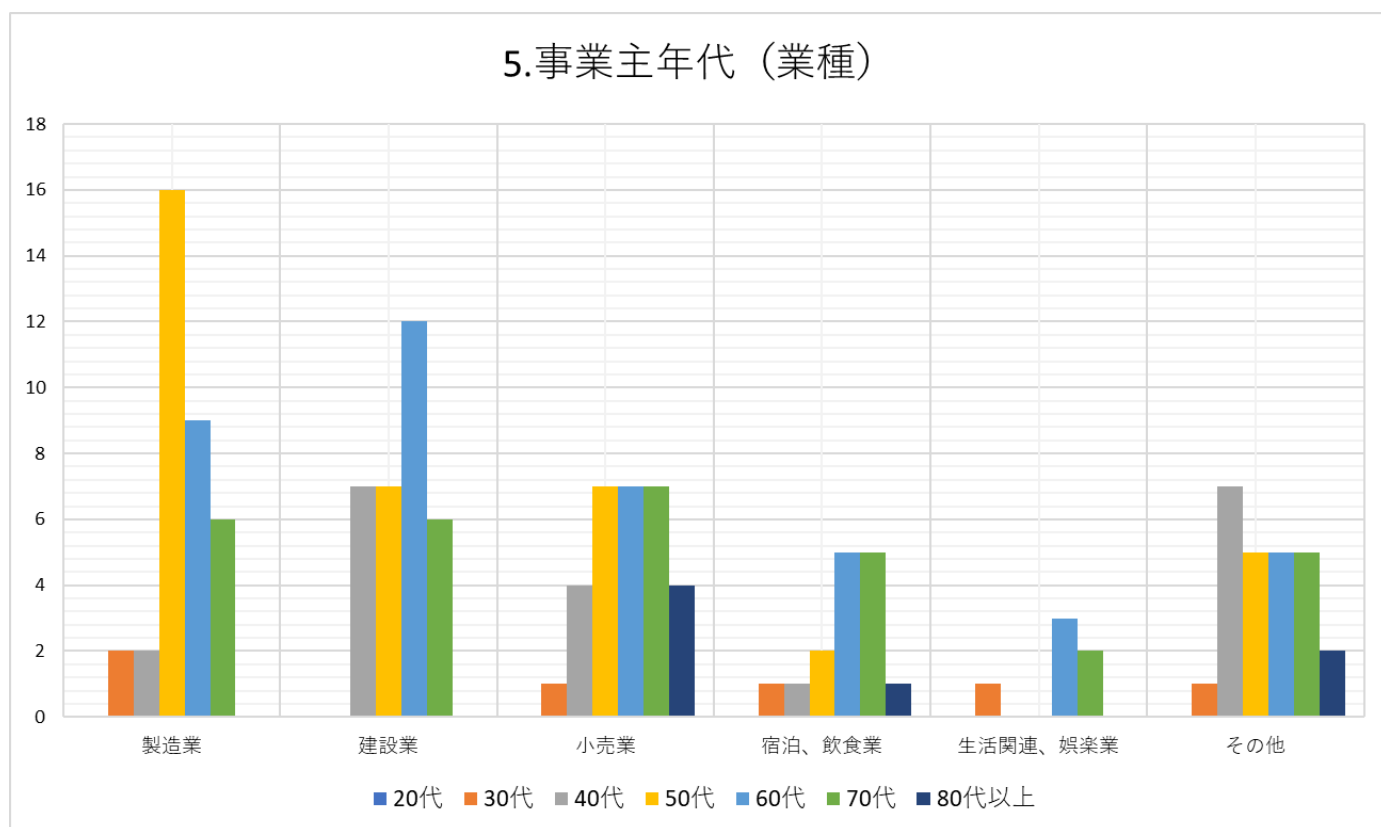
3.企業形態		小牛田	南郷	涌谷	合計
1	個人	22	12	21	55
2	法人	41	11	39	91
	合計 (地区)	63	23	60	146

(4) 営業年数



4.営業年数(業種)	製造業	建設業	小売業	宿泊、飲食業	生活関連、娯楽業	その他	合計
1 0~10年	3	6	3	4	1	3	20
2 11~20年	2	5	0	3	2	1	13
3 21~30年	6	2	2	3	1	4	18
4 31~40年	4	10	4	2	0	4	24
5 41~50年	11	4	4	1	1	6	27
6 51~60年	4	3	6	1	1	3	18
7 61~70年	2	0	2	1	0	3	8
8 71~80年	1	0	1	0	0	0	2
9 81~90年	0	0	2	1	0	0	3
10 91~100年	1	0	1	0	0	0	2
11 それ以上	2	0	2	0	0	1	5
12 無回答	0	2	4	0	0	0	6
合計（業種）	36	32	31	16	6	25	146

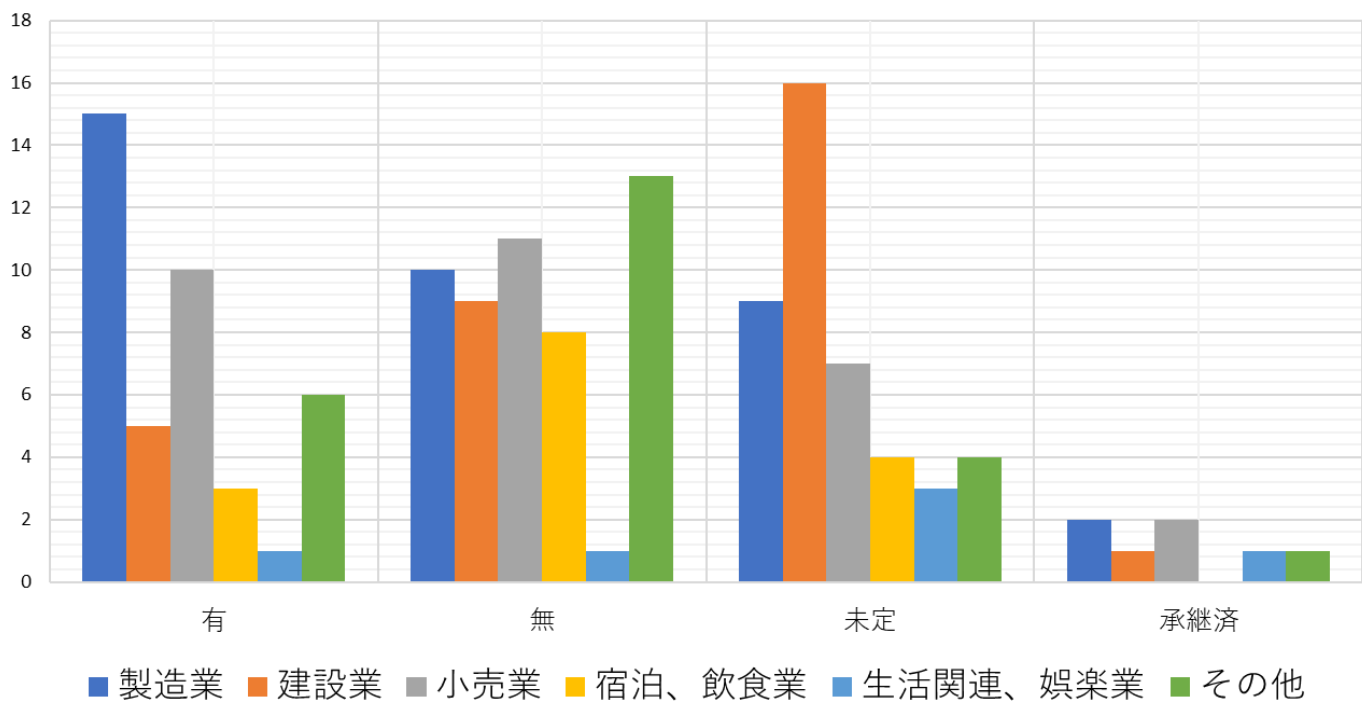
(5) 事業主年代



5.事業主年代（業種）	製造業	建設業	小売業	宿泊、飲食業	生活関連、娯楽業	その他	合計
1 20代	0	0	0	0	0	0	0
2 30代	2	0	1	1	1	1	6
3 40代	2	7	4	1	0	7	21
4 50代	16	7	7	2	0	5	37
5 60代	9	12	7	5	3	5	41
6 70代	6	6	7	5	2	5	31
7 80代以上	0	0	4	1	0	2	7
合計（業種）	35	32	30	15	6	25	143

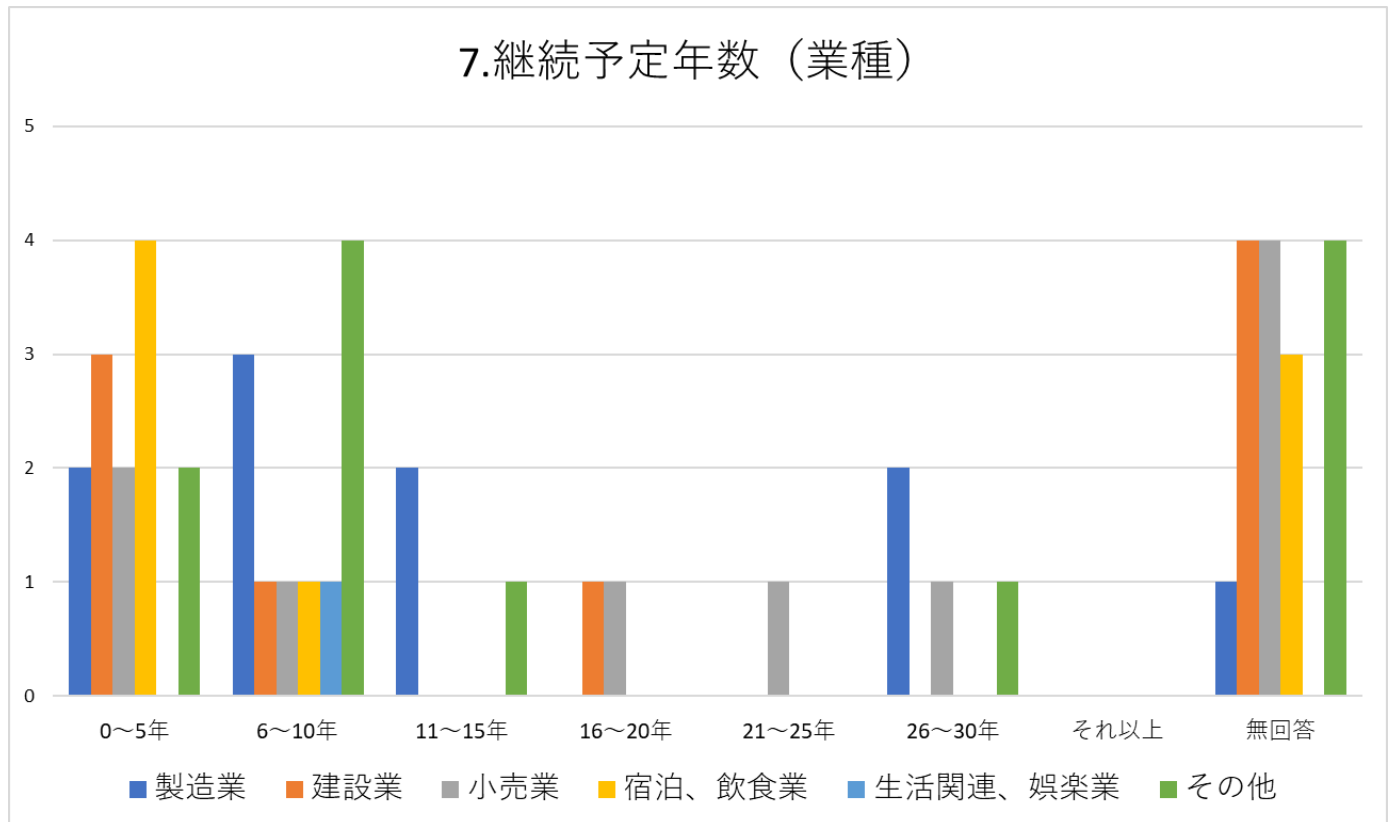
(6) 後継者の有無

6.後継者（業種）



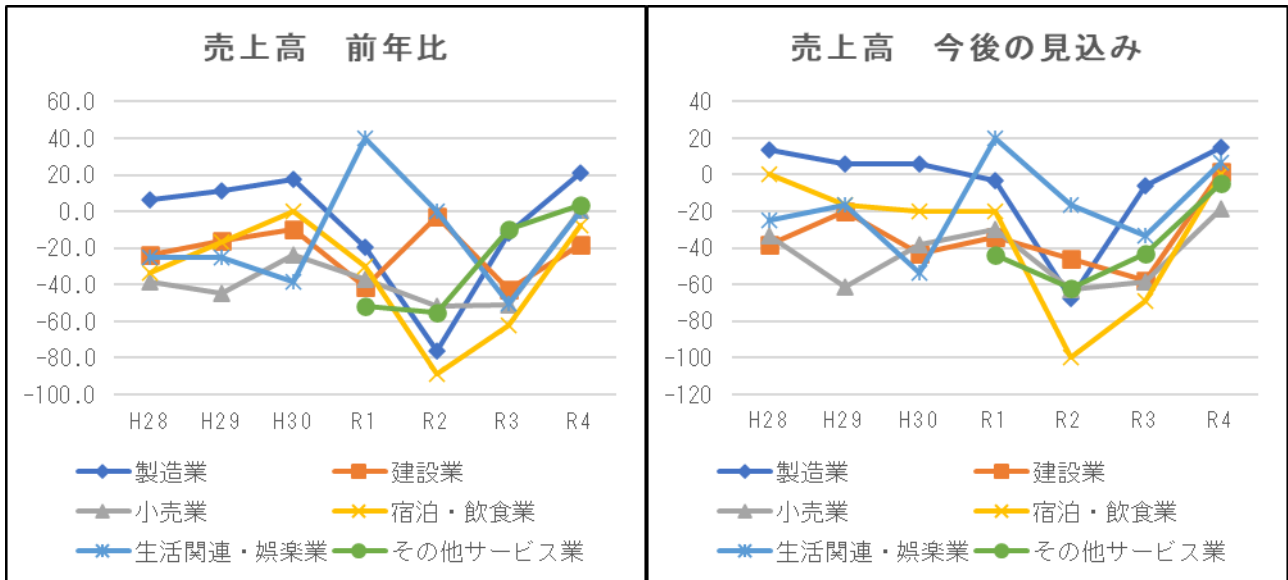
6.後継者（業種）	製造業	建設業	小売業	宿泊、飲食業	生活関連、娯楽業	その他	合計
1 有	15	5	10	3	1	6	40
2 無	10	9	11	8	1	13	52
3 未定	9	16	7	4	3	4	43
4 承継済	2	1	2	0	1	1	7
合計（業種）	36	31	30	15	6	24	142

(7) 継続予定年数



6.継続予定年数（業種）		製造業	建設業	小売業	宿泊、飲食業	生活関連、娯楽業	その他	合計
1	0~5年	2	3	2	4	0	2	13
2	6~10年	3	1	1	1	1	4	11
3	11~15年	2	0	0	0	0	1	3
4	16~20年	0	1	1	0	0	0	2
5	21~25年	0	0	1	0	0	0	1
6	26~30年	2	0	1	0	0	1	4
7	それ以上	0	0	0	0	0	0	0
8	無回答	1	4	4	3	0	4	16
	合計（業種）	10	9	10	8	1	12	50

2. 経営状況について



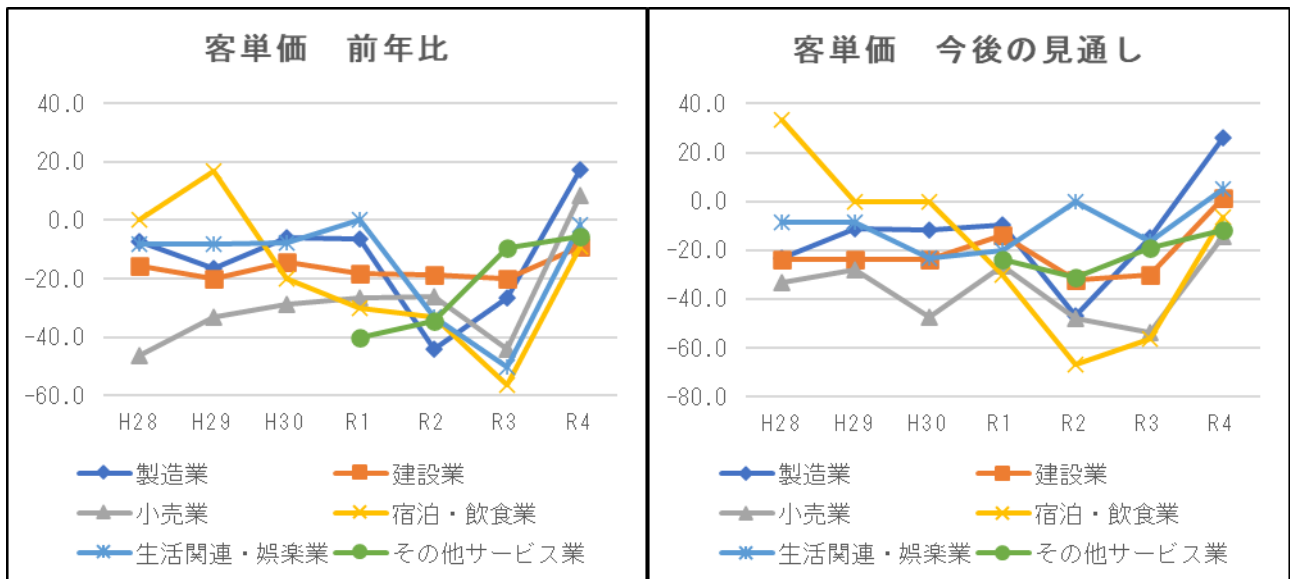
売上高 前年対比

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
製造業	6.7	11.1	17.6	-19.4	-76.5	-11.8	21.2
建設業	-23.8	-16.0	-9.5	-40.9	-2.7	-42.5	-17.9
小売業	-38.4	-44.4	-23.8	-36.7	-51.9	-51.2	0.6
宿泊・飲食業	-33.3	-16.6	0.0	-30.0	-88.9	-62.5	-7.8
生活関連・娯楽業	-25.0	-25.0	-38.4	40.0	0.0	-50.0	0.3
その他サービス業				-52.0	-55.2	-9.5	3.6

売上高 今後の見通し

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
製造業	13.3	5.6	5.8	-3.2	-67.6	-5.9	14.9
建設業	-38.1	-20	-42.8	-34.1	-45.9	-57.5	1.9
小売業	-33.3	-61.1	-38.1	-30.0	-63.0	-58.5	-18.8
宿泊・飲食業	0	-16.6	-20	-20.0	-100.0	-68.8	0.0
生活関連・娯楽業	-25	-16.7	-53.8	20.0	-16.7	-33.3	6.5
その他サービス業				-44.0	-62.1	-42.9	-4.5

・売上高においては、前年比、今後の見通し両方において全業種において上昇傾向であることがわかる。



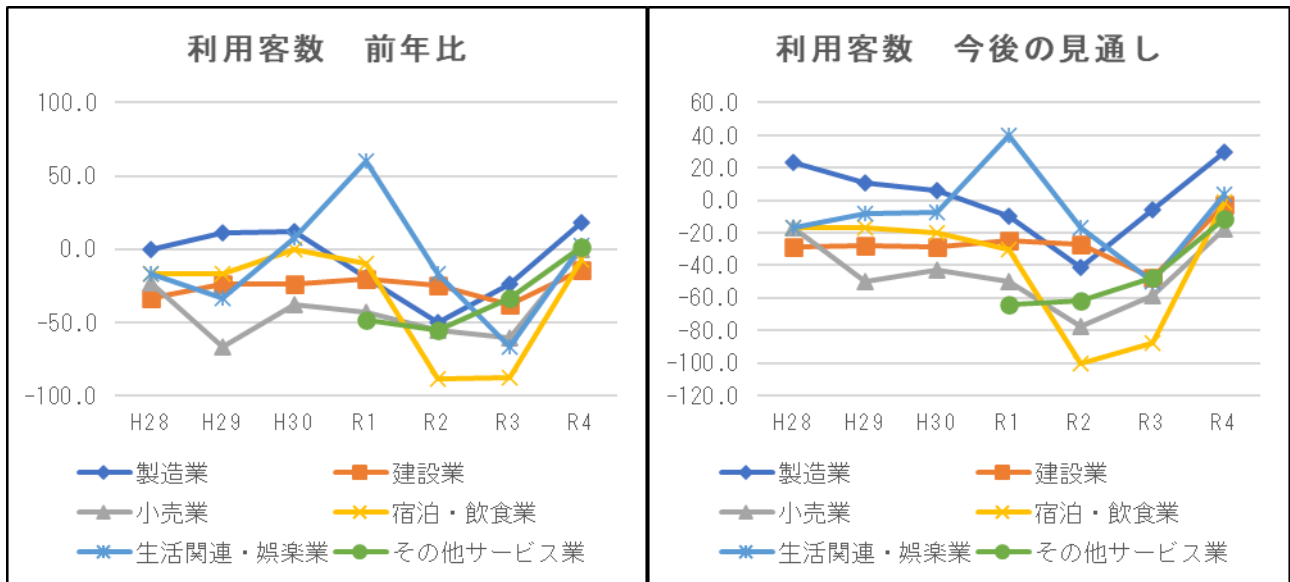
客単価 前年比

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
製造業	-7.2	-16.7	-5.9	-6.5	-44.1	-26.5	17.2
建設業	-15.8	-20.0	-14.3	-18.2	-18.9	-20.0	-9.1
小売業	-46.1	-33.2	-28.6	-26.7	-25.9	-43.9	8.3
宿泊・飲食業	0.0	16.7	-20.0	-30.0	-33.3	-56.3	-9.0
生活関連・娯楽業	-8.4	-8.4	-7.7	0.0	-33.3	-50.0	-1.8
その他サービス業				-40.0	-34.5	-9.5	-5.5

客単価 今後の見通し

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
製造業	-23.1	-11.1	-11.7	-9.7	-47.1	-14.7	26.3
建設業	-23.8	-24.0	-23.8	-13.7	-32.4	-30.0	1.5
小売業	-33.3	-27.8	-47.6	-26.7	-48.1	-53.7	-14.4
宿泊・飲食業	33.3	0.0	0.0	-30.0	-66.7	-56.3	-6.3
生活関連・娯楽業	-8.4	-8.4	-23.1	-20.0	0.0	-16.7	4.8
その他サービス業				-24.0	-31.0	-19.0	-11.9

・客単価については、前年比、今後の見通し両方において全体的に上昇傾向にあり、回復の兆しが見える。



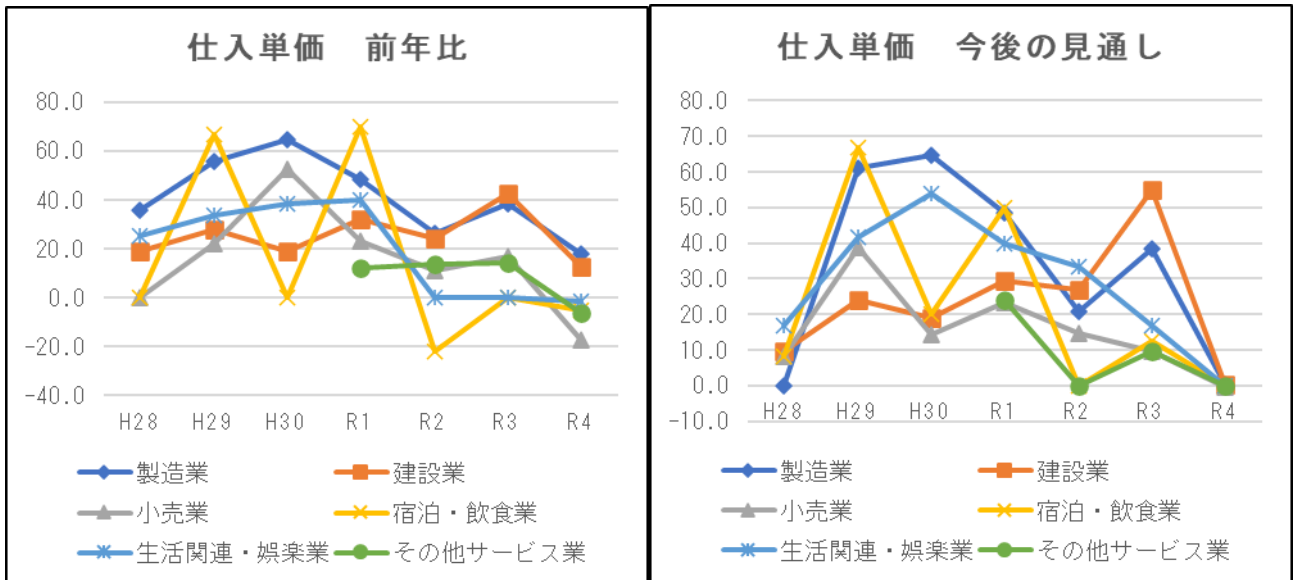
利用客数 前年比

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
製造業	0.0	11.0	11.7	-19.4	-50.0	-23.5	17.8
建設業	-33.3	-24.0	-23.8	-20.5	-24.3	-37.5	-14.5
小売業	-23.0	-66.6	-38.1	-43.3	-55.6	-61.0	-0.1
宿泊・飲食業	-16.7	-16.6	0.0	-10.0	-88.9	-87.5	-7.4
生活関連・娯楽業	-16.7	-33.3	7.7	60.0	-16.7	-66.7	2.4
その他サービス業				-48.0	-55.2	-33.3	1.7

利用客数 今後の見通し

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
製造業	23.1	11.1	5.9	-9.7	-41.2	-5.9	29.5
建設業	-28.6	-28.0	-28.6	-25.0	-27.0	-47.5	-2.3
小売業	-16.7	-50.0	-42.9	-50.0	-77.8	-58.5	-17.9
宿泊・飲食業	-16.7	-16.6	-20.0	-30.0	-100.0	-87.5	-1.1
生活関連・娯楽業	-16.6	-8.4	-7.7	40.0	-16.7	-50.0	3.5
その他サービス業				-64.0	-62.1	-47.6	-11.7

利用客数においては、全業種において前年比を上回っており、今後も持ち直してくる見通しとなっている。



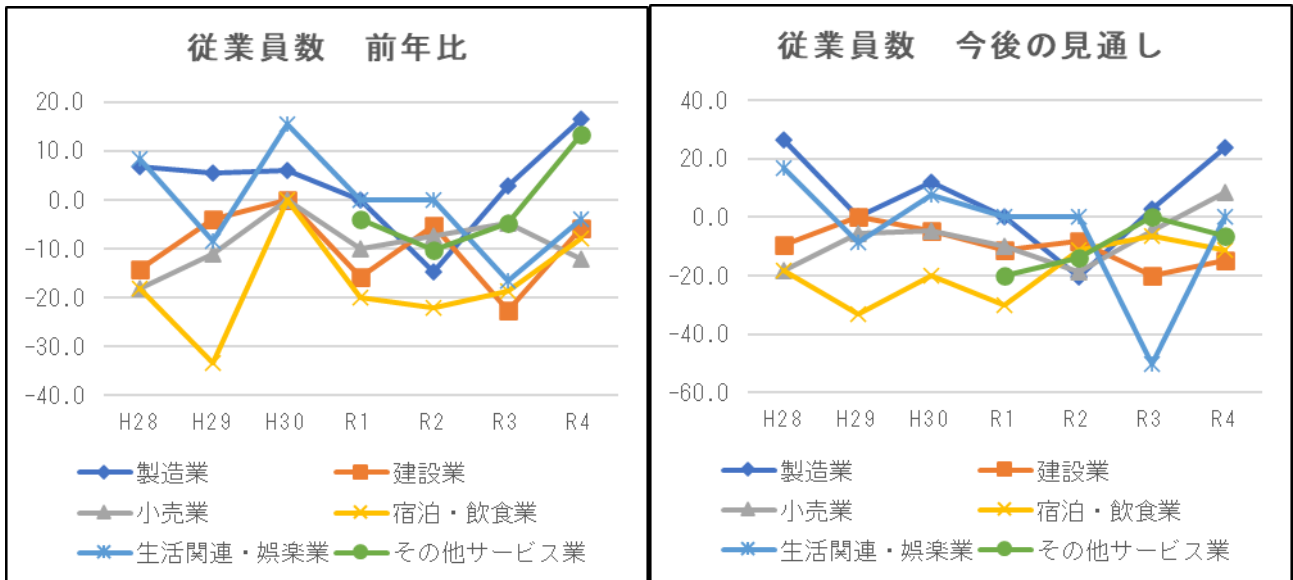
仕入単価 前年比

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
製造業	35.7	55.6	64.7	48.4	26.5	38.2	17.7
建設業	19.0	28.0	19.1	31.8	24.3	42.5	12.4
小売業	0.0	22.2	52.3	23.3	11.1	17.1	-17.4
宿泊・飲食業	0.0	66.7	0.0	70.0	-22.2	0.0	-5.0
生活関連・娯楽業	25.0	33.4	38.5	40.0	0.0	0.0	-1.7
その他サービス業				12.0	13.8	14.3	-6.1

仕入単価 今後の見通し

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
製造業	0.0	61.1	64.7	48.4	20.6	38.2	0.3
建設業	9.5	24.0	19.1	29.5	27.0	55.0	0.1
小売業	8.3	38.9	14.3	23.3	14.8	9.8	-0.3
宿泊・飲食業	8.3	66.7	20.0	50.0	0.0	12.5	0.1
生活関連・娯楽業	16.7	41.7	53.8	40.0	33.3	16.7	0.0
その他サービス業				24.0	0.0	9.5	-0.1

仕入単価においては、前年比生活関連・娯楽業は横ばいであるが、他の業種は下降している。今後の見通しにおいては全業種で低下する見込みとなっている。



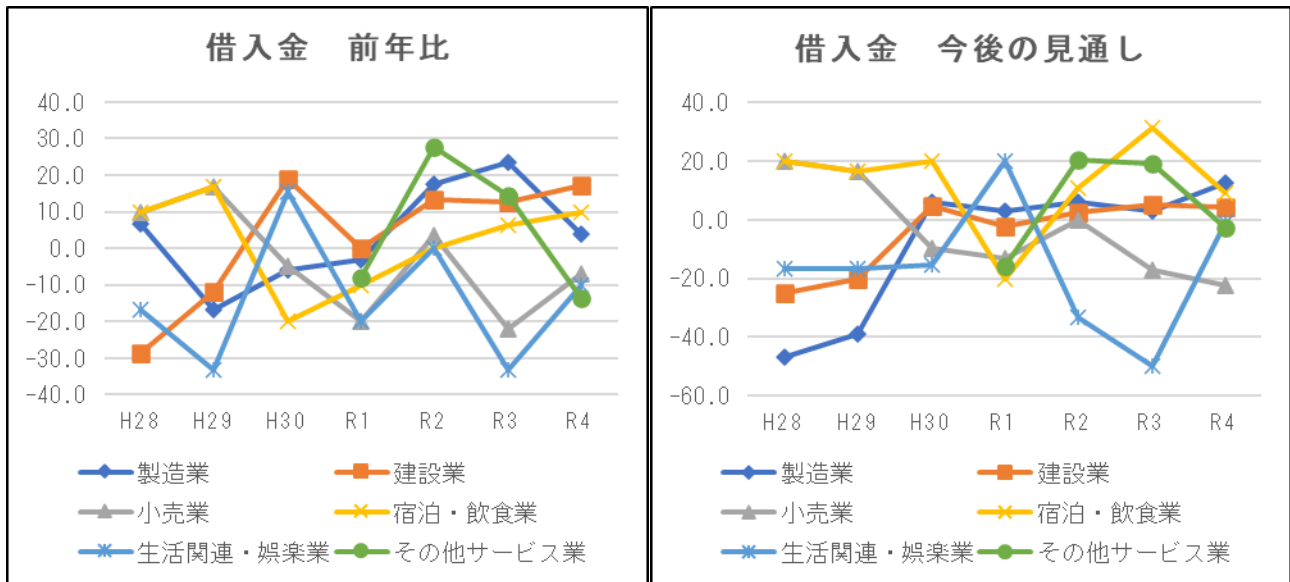
従業員数 前年比

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
製造業	6.7	5.6	5.9	0.0	-14.7	2.9	16.4
建設業	-14.3	-4.0	0.0	-15.9	-5.4	-22.5	-5.8
小売業	-18.2	-11.1	0.0	-10.0	-7.4	-4.9	-12.0
宿泊・飲食業	-18.2	-33.3	0.0	-20.0	-22.2	-18.8	-8.0
生活関連・娯楽業	8.4	-8.4	15.4	0.0	0.0	-16.7	-4.0
その他サービス業				-4.0	-10.3	-4.8	13.3

従業員数 今後の見通し

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
製造業	26.6	0.0	11.8	0.0	-20.6	2.9	23.9
建設業	-9.5	0.0	-4.8	-11.3	-8.1	-20.0	-14.5
小売業	-18.2	-5.6	-4.8	-10.0	-18.5	-4.9	8.3
宿泊・飲食業	-18.2	-33.3	-20.0	-30.0	-11.1	-6.3	-11.1
生活関連・娯楽業	16.7	-8.4	7.7	0.0	0.0	-50.0	0.0
その他サービス業				-20.0	-13.8	0.0	-6.6

従業員数においては、前年比においては小売業で減少しているもの、他の業種は増加している。今後の見通しにおいても、全体的に増える見通し。



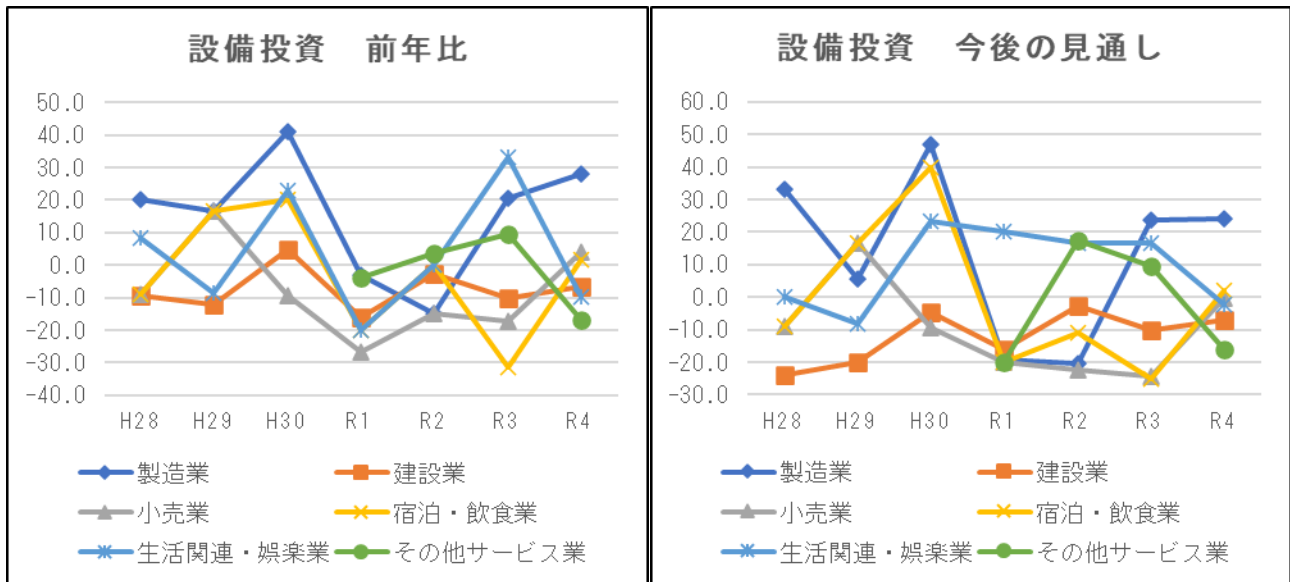
借入金 前年比

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
製造業	6.7	-16.7	-5.9	-3.2	17.6	23.5	3.8
建設業	-28.5	-12.0	19.1	0.0	13.5	12.5	17.1
小売業	10.0	16.7	-4.7	-20.0	3.7	-22.0	-7.0
宿泊・飲食業	10.0	16.7	-20.0	-10.0	0.0	6.3	9.7
生活関連・娯楽業	-16.7	-33.3	15.4	-20.0	0.0	-33.3	-10.0
その他サービス業				-8.0	27.6	14.3	-13.6

借入金 今後の見通し

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
製造業	-46.7	-38.9	5.9	3.2	5.9	2.9	12.5
建設業	-25.0	-20.0	4.7	-2.3	2.7	5.0	4.5
小売業	20.0	16.7	-9.5	-13.3	0.0	-17.1	-22.3
宿泊・飲食業	20.0	16.7	20.0	-20.0	11.1	31.3	8.9
生活関連・娯楽業	-16.7	-16.7	-15.4	20.0	-33.3	-50.0	-0.9
その他サービス業				-16.0	20.7	19.0	-2.7

借入金においては、前年比は建設業、小売業、宿泊・飲食業、生活関連・娯楽業で増加しており、今後の見通しにおいては、特に生活関連・娯楽業における増加が顕著となっている。



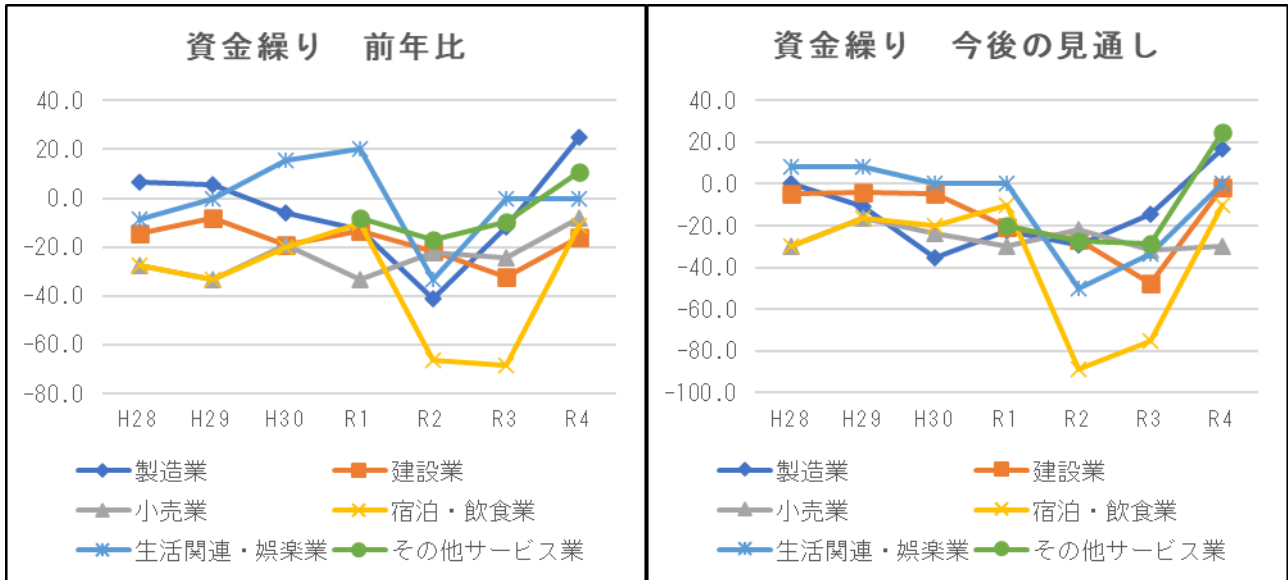
設備投資 前年比

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
製造業	20.0	16.6	41.2	-3.2	-14.7	20.6	27.9
建設業	-9.5	-12.0	4.7	-15.9	-2.7	-10.0	-6.6
小売業	-9.1	16.7	-9.5	-26.7	-14.8	-17.1	3.9
宿泊・飲食業	-9.1	16.7	20.0	-20.0	0.0	-31.3	1.5
生活関連・娯楽業	8.3	-8.4	23.1	-20.0	0.0	33.3	-9.7
その他サービス業				-4.0	3.4	9.5	-17.0

設備投資 今野見通し

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
製造業	33.3	5.6	47.1	-19.4	-20.6	23.5	23.9
建設業	-23.8	-20.0	-4.7	-15.9	-2.7	-10.0	-7.1
小売業	-9.1	16.7	-9.5	-20.0	-22.2	-24.4	-0.3
宿泊・飲食業	-9.1	16.7	40.0	-20.0	-11.1	-25.0	2.0
生活関連・娯楽業	0.0	-8.4	23.1	20.0	16.7	16.7	-2.4
その他サービス業				-20.0	17.2	9.5	-16.2

設備投資においては、前年比で生活関連・娯楽業の下降が大きい。今後の見通しにおいては宿泊・飲食業、小売業においては上昇傾向、生活関連・娯楽業、その他サービス業において下降傾向にある。



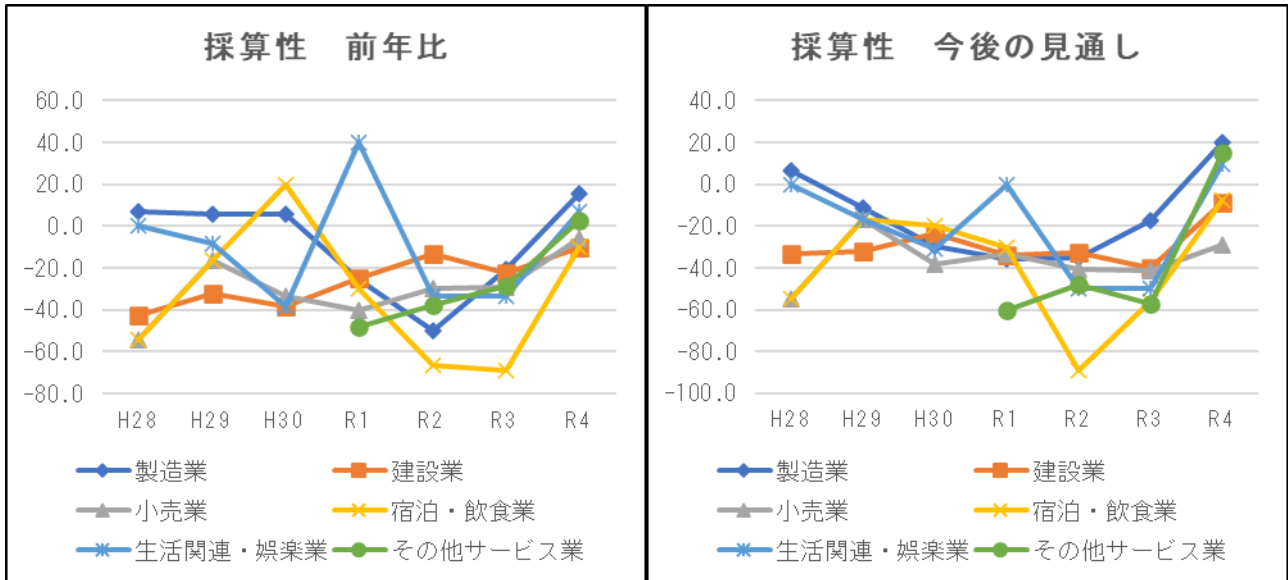
資金繰り 前年比

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
製造業	6.7	5.6	-5.8	-12.9	-41.2	-11.8	25.0
建設業	-14.3	-8.0	-19.0	-13.6	-21.6	-32.5	-15.9
小売業	-27.3	-33.3	-19.0	-33.3	-22.2	-24.4	-8.3
宿泊・飲食業	-27.3	-33.3	-20.0	-10.0	-66.7	-68.8	-11.4
生活関連・娯楽業	-8.4	0.0	15.4	20.0	-33.3	0.0	0.0
その他サービス業				-8.0	-17.2	-9.5	10.6

資金繰り 今後の見通し

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
製造業	0.0	-11.1	-35.3	-22.6	-29.4	-14.7	16.9
建設業	-4.7	-4.0	-4.8	-20.5	-27.0	-47.5	-1.7
小売業	-30.0	-16.7	-23.8	-30.0	-22.2	-31.7	-30.0
宿泊・飲食業	-30.0	-16.7	-20.0	-10.0	-88.9	-75.0	-10.0
生活関連・娯楽業	8.4	8.4	0.0	0.0	-50.0	-33.3	0.0
その他サービス業				-20.0	-27.6	-28.6	24.9

資金繰りにおいては、ほとんどの業種において前年比より改善傾向が見られる。今後の見通しにおいては小売業では横ばいであるものの、他の業種では上昇している。



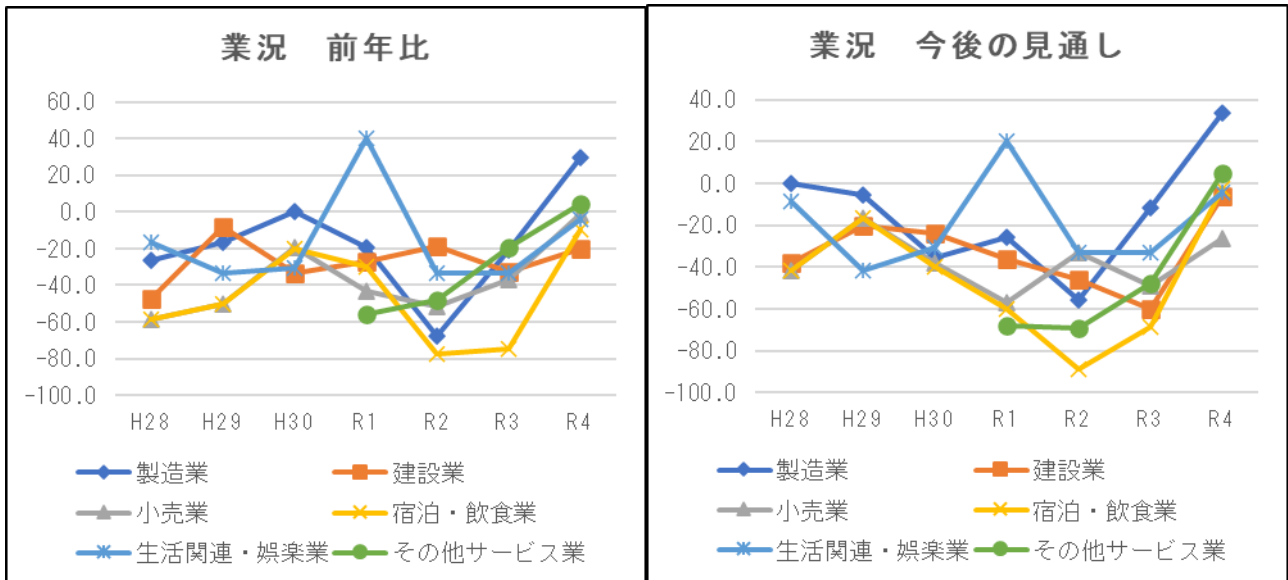
採算性 前年比

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
製造業	6.7	5.5	5.9	-25.8	-50.0	-20.6	15.7
建設業	-42.8	-32.0	-38.1	-25.0	-13.5	-22.5	-10.0
小売業	-54.5	-16.6	-33.3	-40.0	-29.6	-29.3	-5.7
宿泊・飲食業	-54.5	-16.6	20.0	-30.0	-66.7	-68.8	-10.0
生活関連・娯楽業	0.0	-8.4	-38.5	40.0	-33.3	-33.3	7.1
その他サービス業				-48.0	-37.9	-28.6	2.9

採算性 今後の見通し

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
製造業	6.7	-11.1	-29.4	-35.5	-35.3	-17.6	20.2
建設業	-33.3	-32.0	-23.8	-34.1	-32.4	-40.0	-8.6
小売業	-54.5	-16.6	-38.1	-33.3	-40.7	-41.5	-28.8
宿泊・飲食業	-54.5	-16.6	-20.0	-30.0	-88.9	-56.3	-7.6
生活関連・娯楽業	0.0	-16.7	-30.8	0.0	-50.0	-50.0	9.6
その他サービス業				-60.0	-48.3	-57.1	15.2

採算性においては、前年比において全業種で回復傾向にある。今後の見通しにおいても上昇傾向にあり、採算性が改善しつつある。



業況 前年比

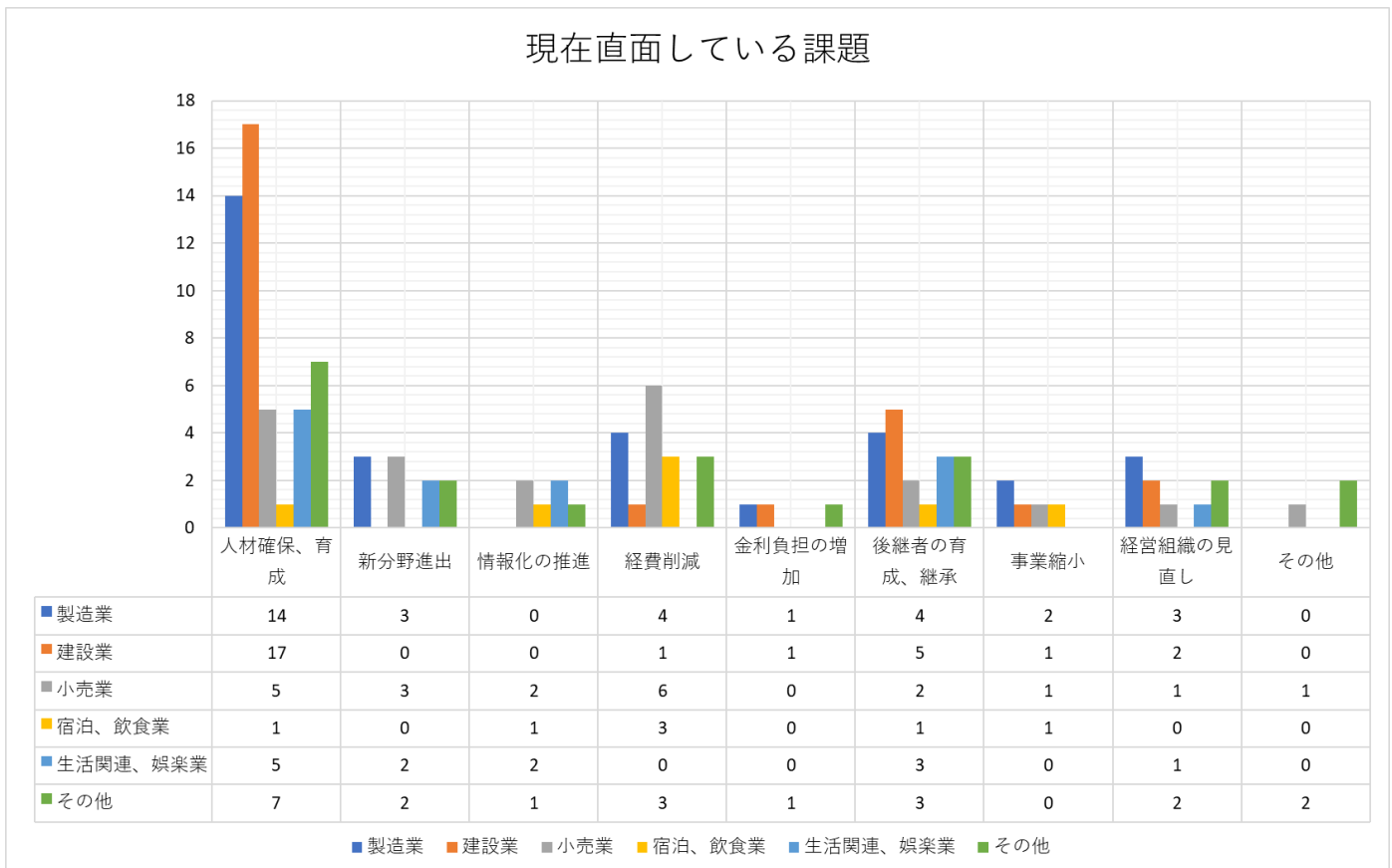
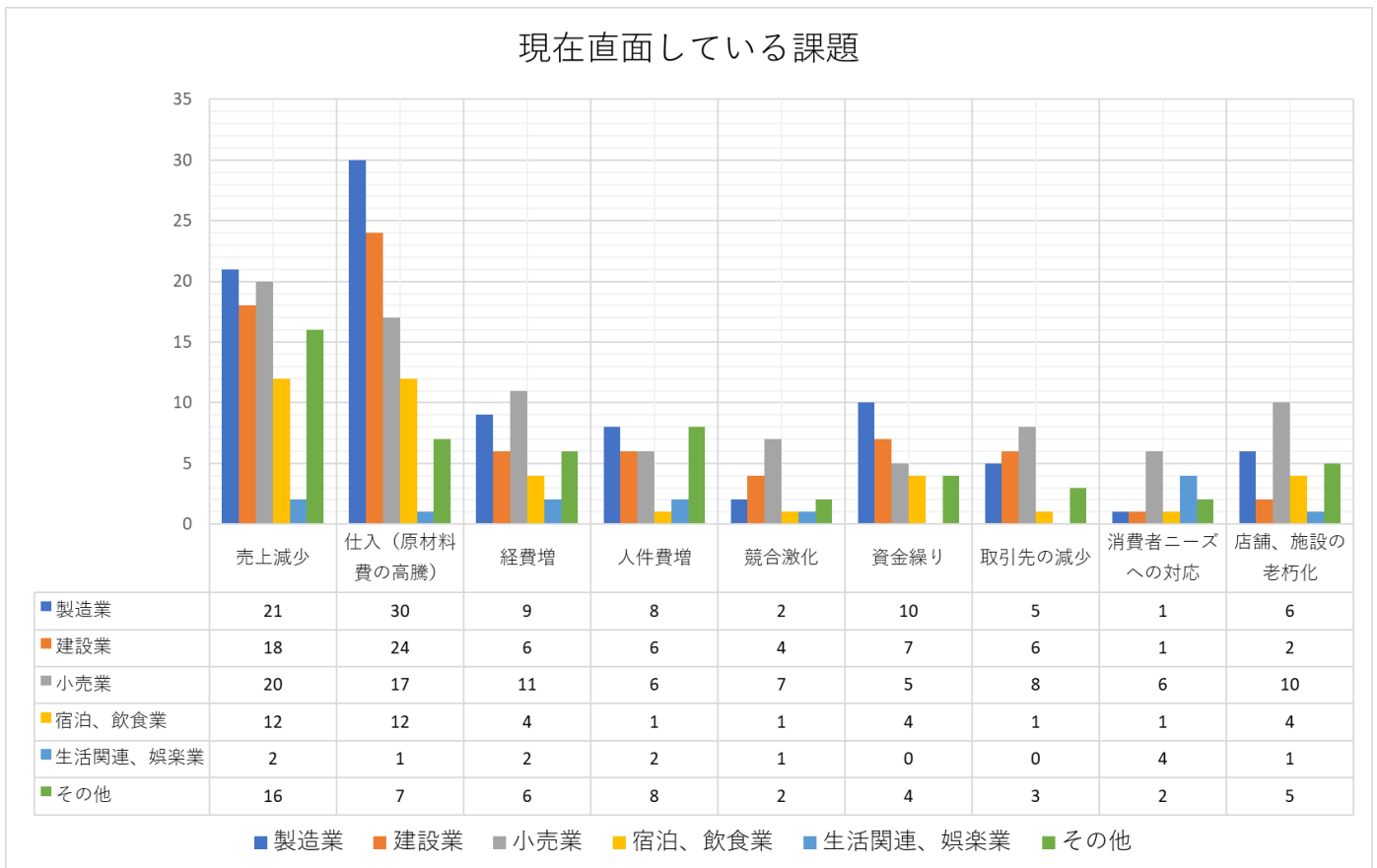
業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
製造業	-26.6	-16.7	0.0	-19.4	-67.6	-20.6	29.8
建設業	-47.6	-8.0	-33.3	-27.2	-18.9	-32.5	-20.0
小売業	-58.4	-50.0	-19.0	-43.3	-51.9	-36.6	-0.9
宿泊・飲食業	-58.4	-50.0	-20.0	-30.0	-77.8	-75.0	-9.3
生活関連・娯楽業	-16.7	-33.4	-30.7	40.0	-33.3	-33.3	-4.0
その他サービス業				-56.0	-48.3	-19.0	4.4

業況 今後の見通し

業種	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
製造業	0.0	-5.5	-35.3	-25.8	-55.9	-11.8	33.9
建設業	-38.1	-20.0	-23.8	-36.4	-45.9	-60.0	-6.3
小売業	-41.7	-16.6	-38.1	-56.7	-33.3	-48.8	-26.0
宿泊・飲食業	-41.7	-16.6	-40.0	-60.0	-88.9	-68.8	-2.4
生活関連・娯楽業	-8.3	-41.7	-30.8	20.0	-33.3	-33.3	-4.1
その他サービス業				-68.0	-69.0	-47.6	5.0

業況については、全業種において前年比で上回っている。今後の見通しも上昇傾向にあり、業況が回復してきていると思われる。

3. 現在直面している課題



現在直面している課題においては、全ての業種で売上減少が多い。特に製造業においては原材料の高騰、建設業においては人材の確保、育成と答えた事業所が多く見られる。

<現在直面している課題の具体的内容>

- ・車両保有台数と購入者減少
- ・前店舗老朽化と強制退去で新店舗をリノベーションし、設備投資。運転資金の増大を踏まえ、経営の見直しを推進中。
- ・原材料高騰に関しては、都度客先へ情報提供し値上げ交渉を行っているが承認されるまでの時間分の支出が多くなる。人材については中途採用やパート従業員についても同様で中々集まりにくい。
- ・仕入原材料の高騰による売り上げ利益の悪化。
- ・光熱費の高騰により買い控えが発生している（仕入れ価格含む）。
- ・経営多画化（新規事業）。
- ・自動車分野の製造が主であるが新分野進出に向けて取り組みを開始した。新分野進出の取り組みに伴い専門知識の人材が必要になり人材確保が難しい。
- ・売上減少＝人口（消費）仕入れ高騰（円高）（生産者減少）（規模拡大生産高値推移）。
- ・単純に来客数が少なく売り上げが少ないので大変。情報発信の工夫と新しいサービスの提供でしのいでいきたい。
- ・コロナウイルスの終了で普通に戻りたい。
- ・令和4年になってからも二度の材料費値上げ。
- ・新型コロナ流行終了が見通せず売り上げが戻らない。今後借入金の返済猶予期間が終わった後の資金繰りを思うとゾッとする。
- ・新しい社員が入社してもすぐに辞める。事務所の老朽化。
- ・コロナで経営が苦しくなった。
- ・本年度中に譲渡または廃業（貸店舗又は売却をしたい）。
- ・借入金の返済が大変なくらい売り上げが減少し、策が見つかりません。
- ・人材が減少している。仕事も減っている。
- ・少子化及び大手企業の進出により、新卒者の確保が難しい。
- ・人材確保、資金繰り。
- ・売上は微減だが水道光熱費、仕入れ経費、包装材等が値上がりラッシュで価格改定をしても売り上げには結びつかないためギリ貧状態。
- ・卸売りの販売店舗減少による売り上げ減のためやめざるを得ないので悩んでいる。
- ・原油価格高が続いており厳しい状況が予想される。
- ・原材料の高騰で頭が痛い。
- ・建物老朽化により雨漏り、自動シャッター、自動ドアの開閉がスムーズにできない。売上減の中で修繕費用（250万）は大きい。
- ・コロナ感染症により来客が減少し、流行のある商品のため在庫数が多く収益につながらない。取引先の減少やデジタル化により客のニーズに応えることが難しい。
- ・事業継承：廃業にするか。

<現在直面している課題の解決に向けて貴社が行っている取り組みについて>

- ・積極的なユーザーへのアタック（DM、TEL コール）。
- ・SNS を駆使しての情報発信。キャッシュレス化の対応に向けて QR 決済、電子マネー決済の採用で幅広い客層の集客力に努めている。

研修等への参加。

- ・ムダを無くすことに気をつけている。
- ・社内勉強会の拡充（業務進捗・コンプライアンス・リスクアセスメント等）CS（肩客満足度）向上の取り組み・経営推進発表会）。
- ・ハローワーク等求人依頼。
- ・コロナや半導体の問題もあり自動車分野の受注減が続いており、新分野進出に取り組みを開始しているが何々に進まない状況である。
- ・営業継続に必要な基本数値の裏付けと販売環境の整備、ニーズに答えて。

リラクゼーション業に加えてオンラインカウンセリング、セルフケアの講座等来店しなくても受けられるサービスの提供を考え中。

・DX化

・ホームページの刷新と市場動向把握

・人材をさがすことが難しい

・今期は若者の人材が確保できたので、時代に合わせた育成に取り組み長く勤めてもらえるように気を配っている

・新しい事務所を建設予定。自社ホームページを作成し人材を確保。事務所を新しくする等、環境を整えて長期就労をはかる。

・お客様ニーズに合わせた品揃え。

・時短営業・従業員の勤務時間短縮。

・コロナが終息するのを待つしかない。

・商品への価格転嫁を考えている。

・各高校を訪問し、情報収集と新規採用に向けた意見交換。

・人材確保

・役員の給料の見直し

・飲食主体だが物販（商品仕入れでそのまま販売）に力を入れている。来年のインボイス導入により現在の様々な仕入れ先から仕入れがしにくくなる。特に地場産品からの仕入れをメインにしているので個人のため仕入れを立てるのが難しくなる。こだわりの食材でだしているので大変困っている。このままだと個人事業者から本仕入れを続けなければならない消費税を余計払うことになる。

・新商品の開発

・借入金返済の元金据え置き交渉。販路拡大のため商談会参加。ネット販売強化

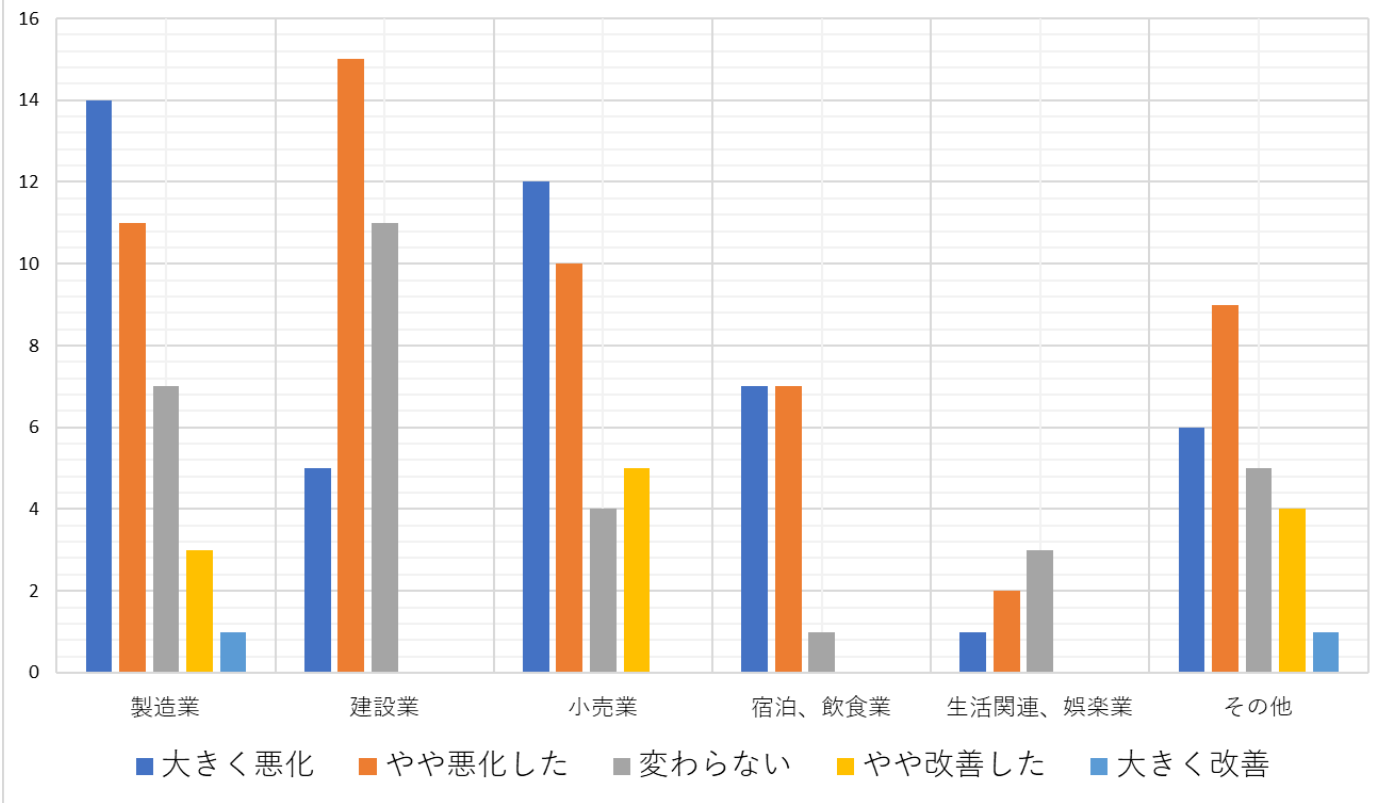
・人材確保が出来ない。採用募集もできない

・地道に取引先と連携して価格を決めている

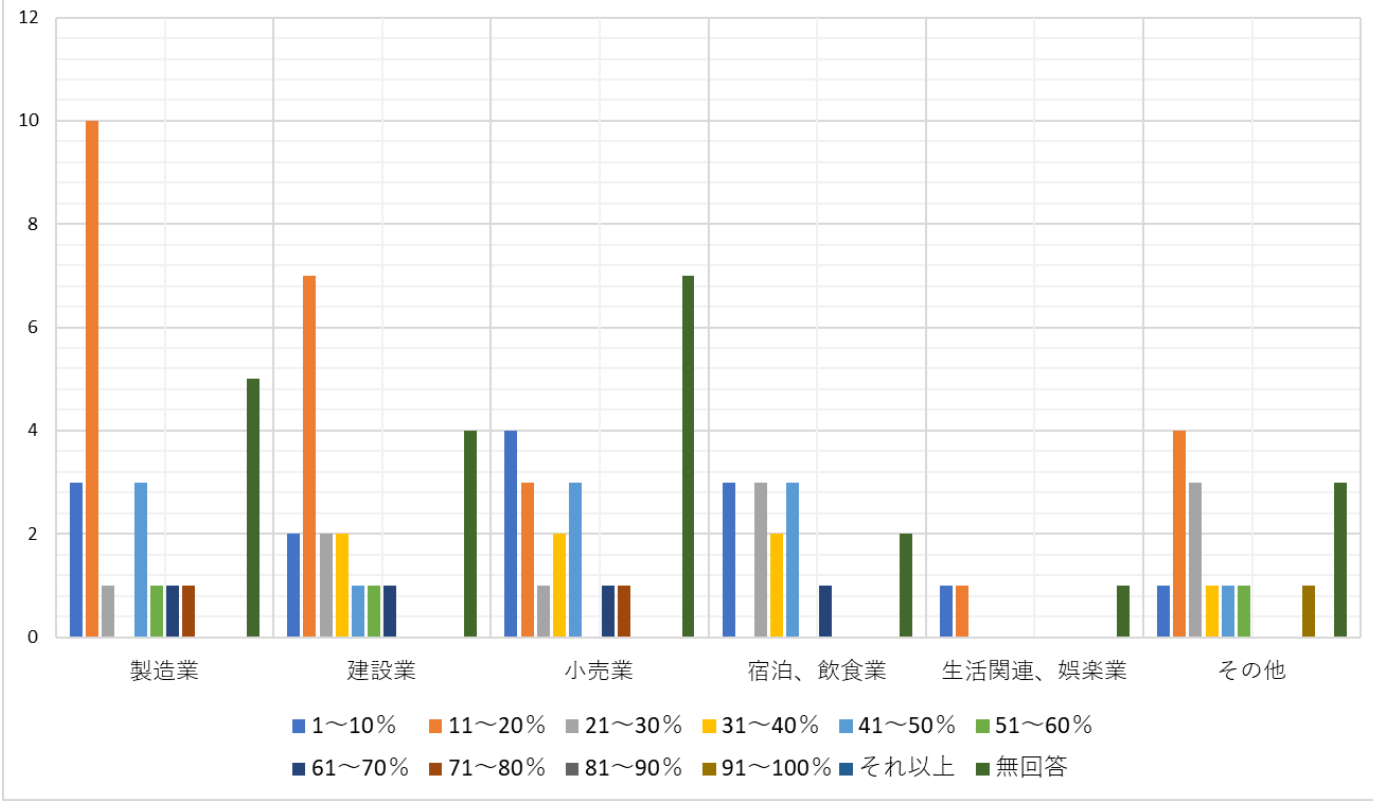
・客のニーズに合うものを仕入れることが出来ず取引先の開拓に向け試行錯誤している。

4. 新型コロナの影響

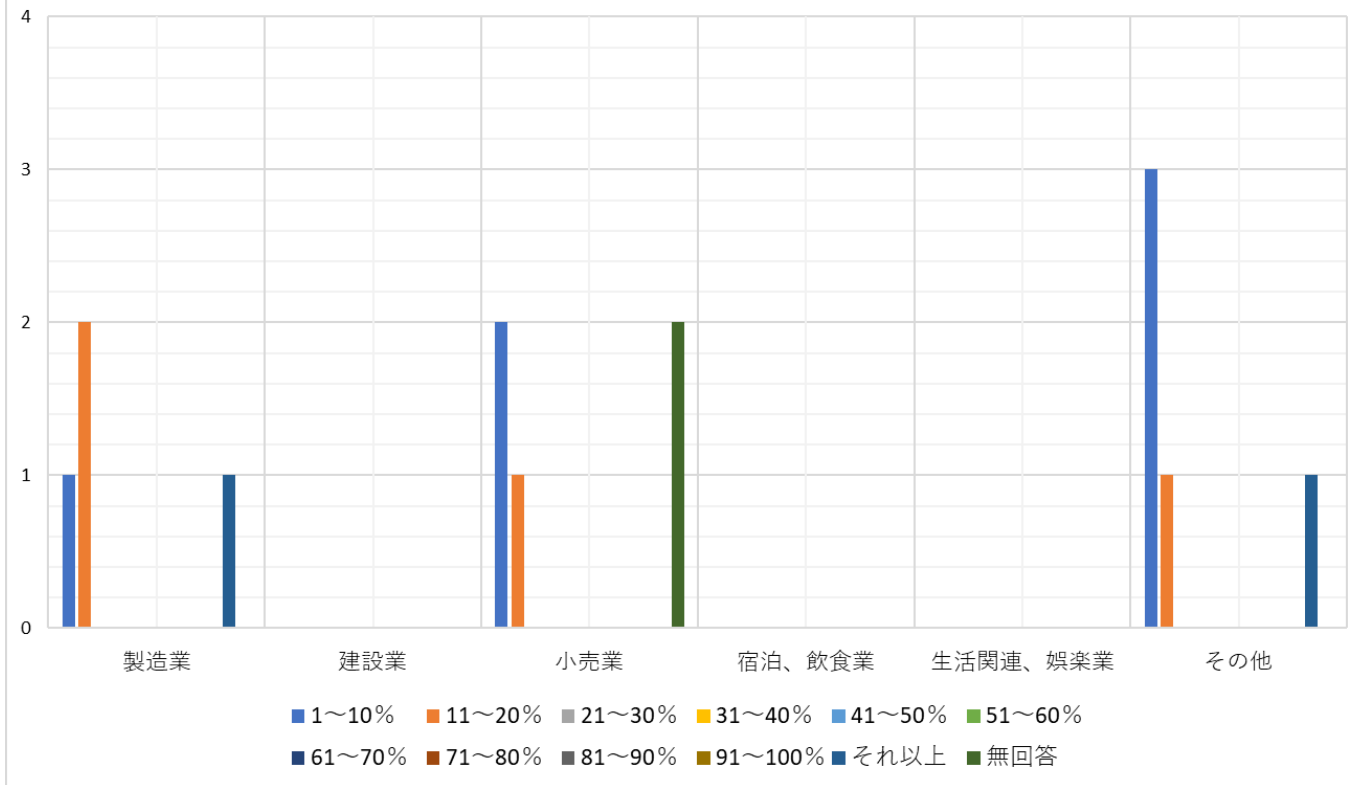
新型コロナの影響（令和元年と令和3年の業績比較）



「大きく悪化」「やや悪化した」減少率

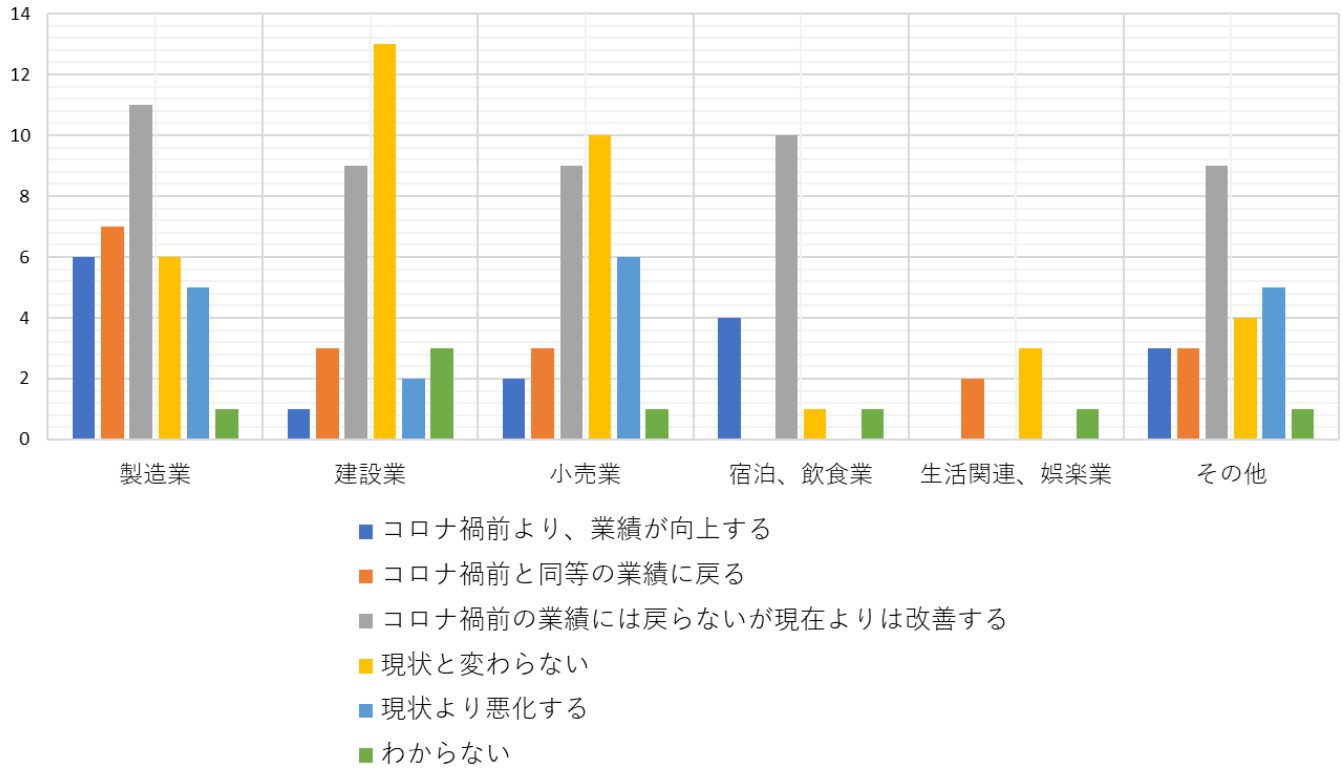


「やや改善した」「大きく改善」増加率



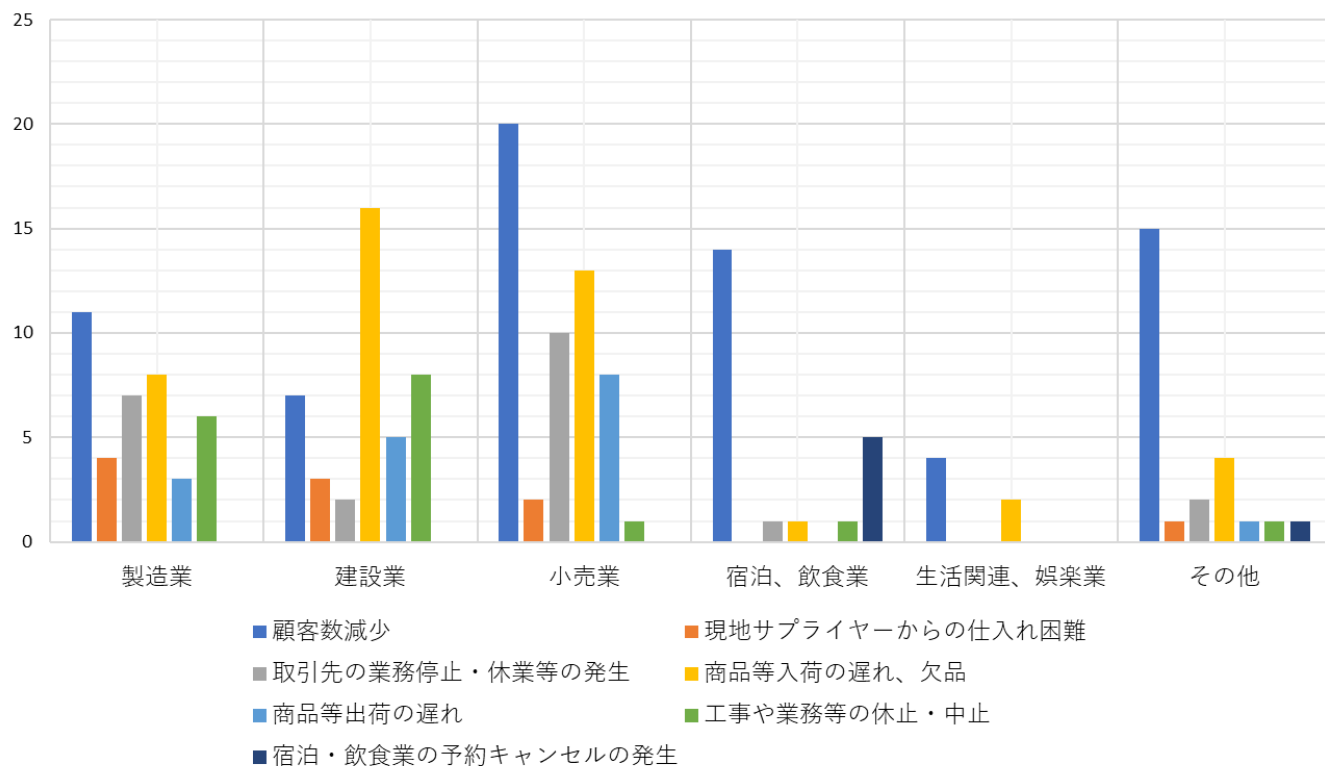
令和元年と令和3年との比較における新型コロナの影響においては、全体的に「大きく悪化した」「やや悪化した」と回答した事業所が多く、減少率は11~20%と答えたところが多い。また、「やや改善した」「大きく改善」と答えも若干あり、改善がみられる事業所も見受けられる。

新型コロナ終息後の見通し

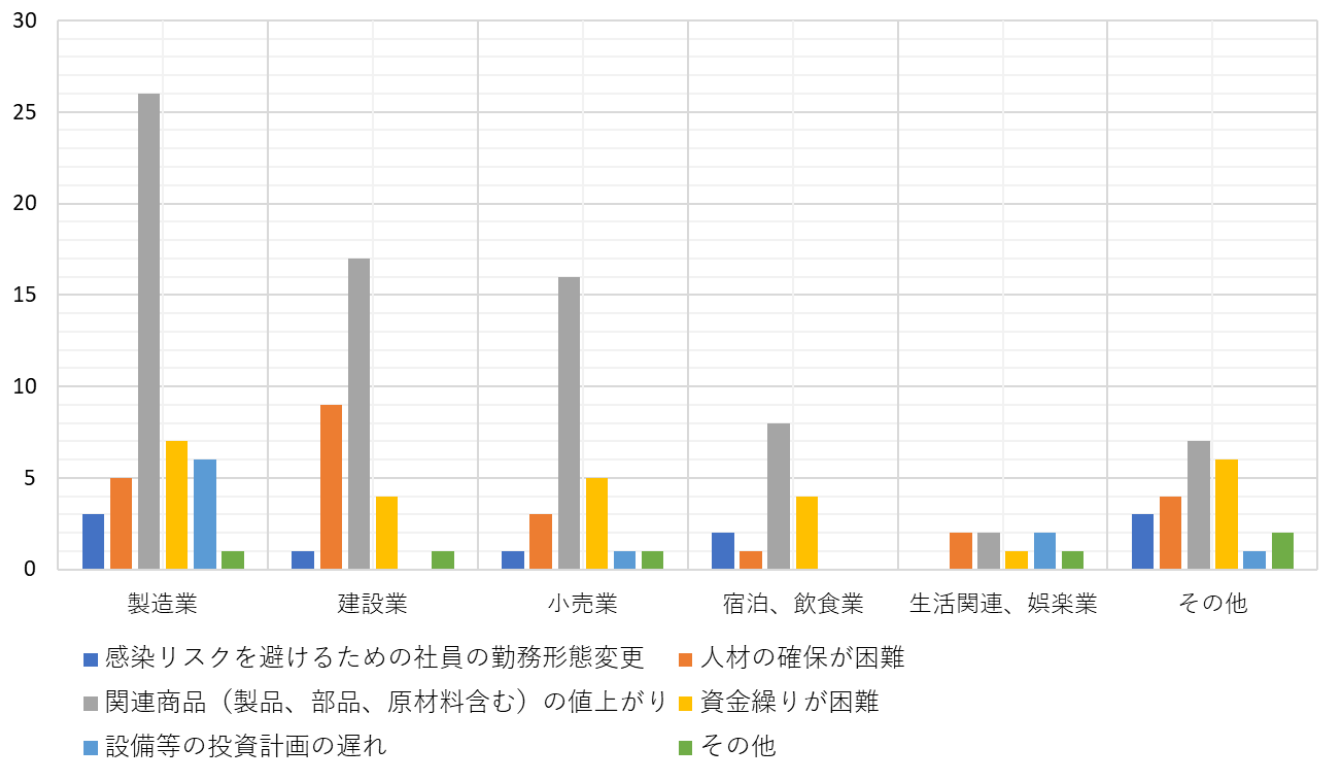


新型コロナ終息後の見通しについては、全体的には「コロナ禍前の業績には戻らないが現在よりは改善する」と答えた事業所が多く、今後の見通しが明るくなりつつあるのが感じられる一方、「現状と変わらない」と答えた事業所も一定数見受けられる。

現在の新型コロナウイルスの影響

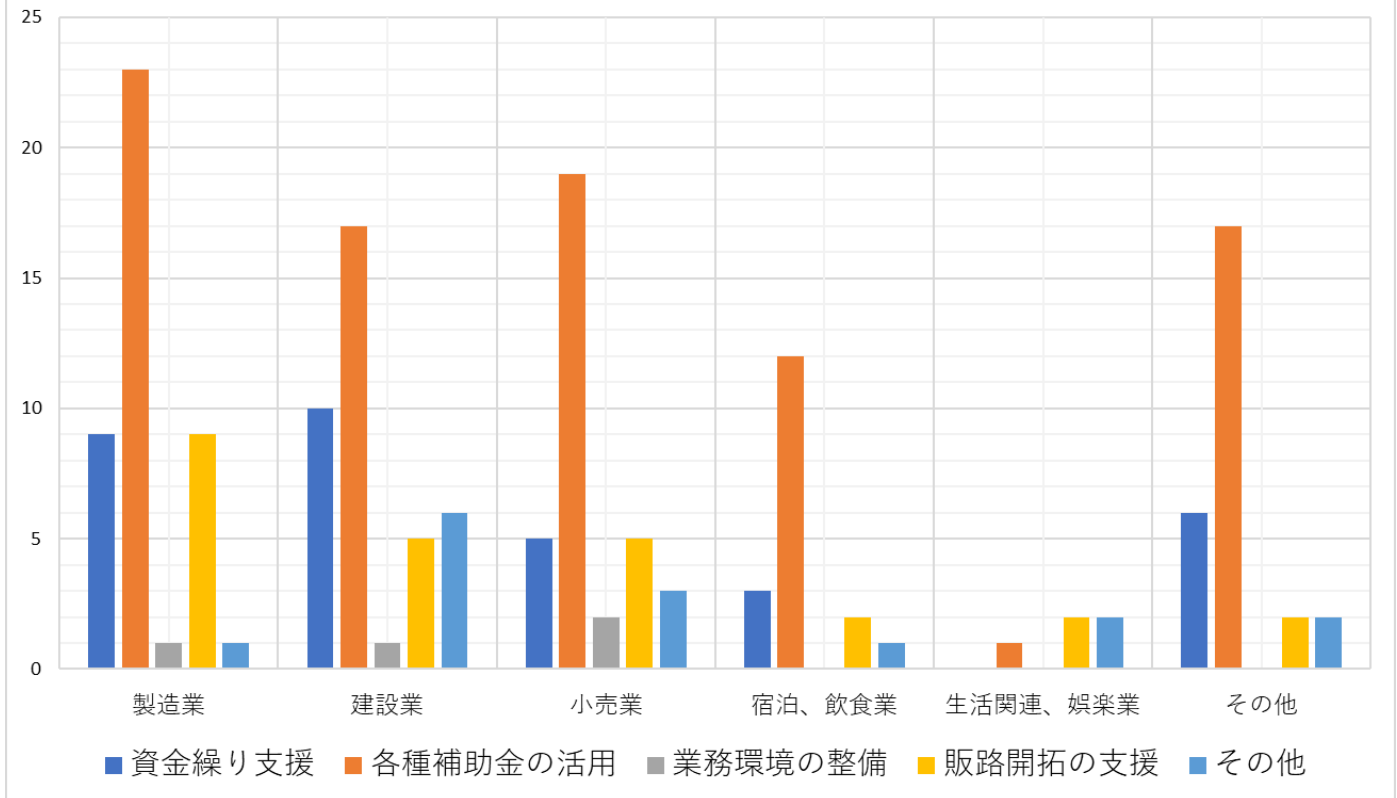


現在の新型コロナウイルスの影響



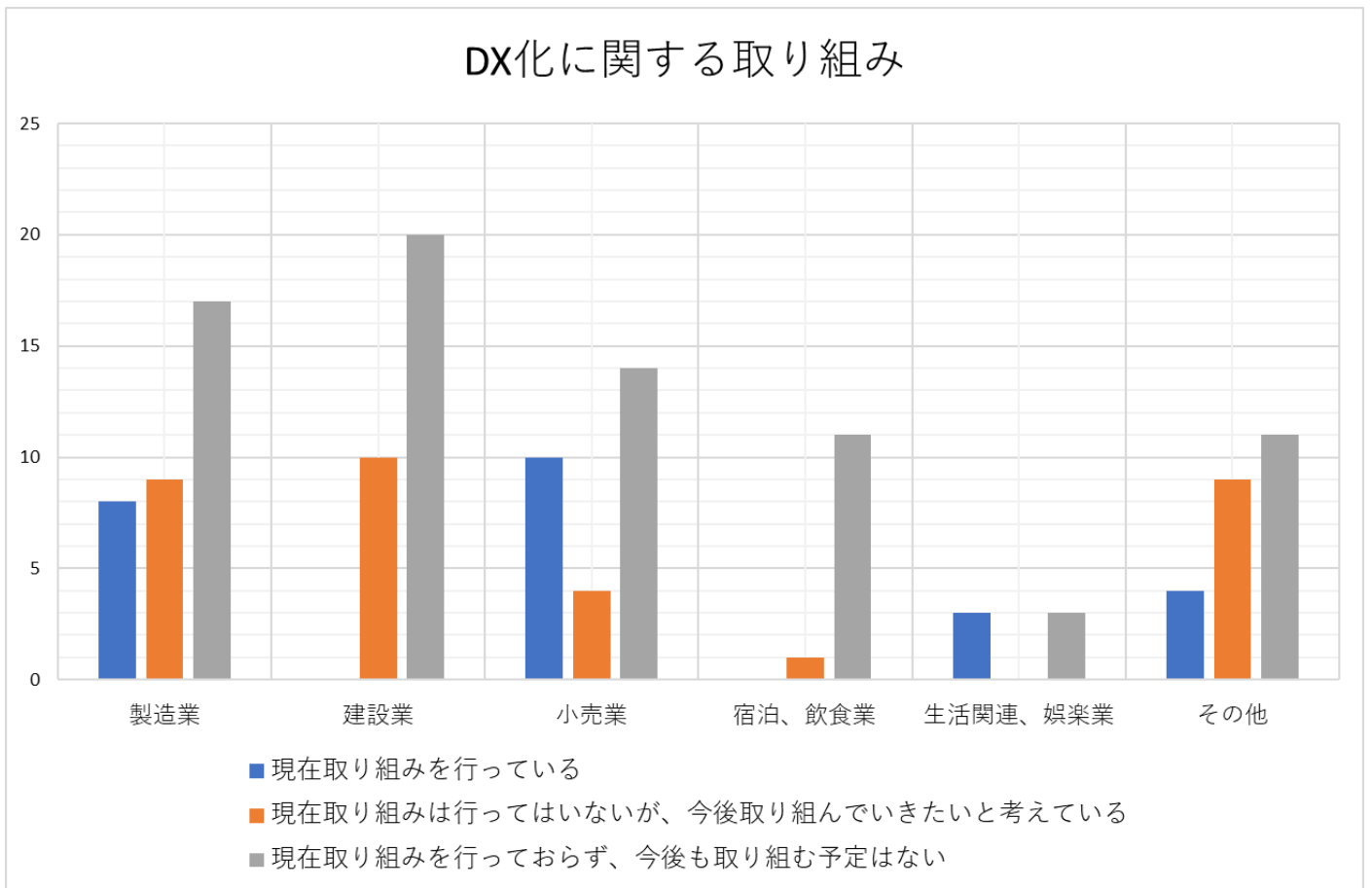
現在の新型コロナウイルスの影響においては、「顧客数減少」「関連商品（製品、部品、原材料含む）の値上がり」といった回答が多い。

求める支援施策



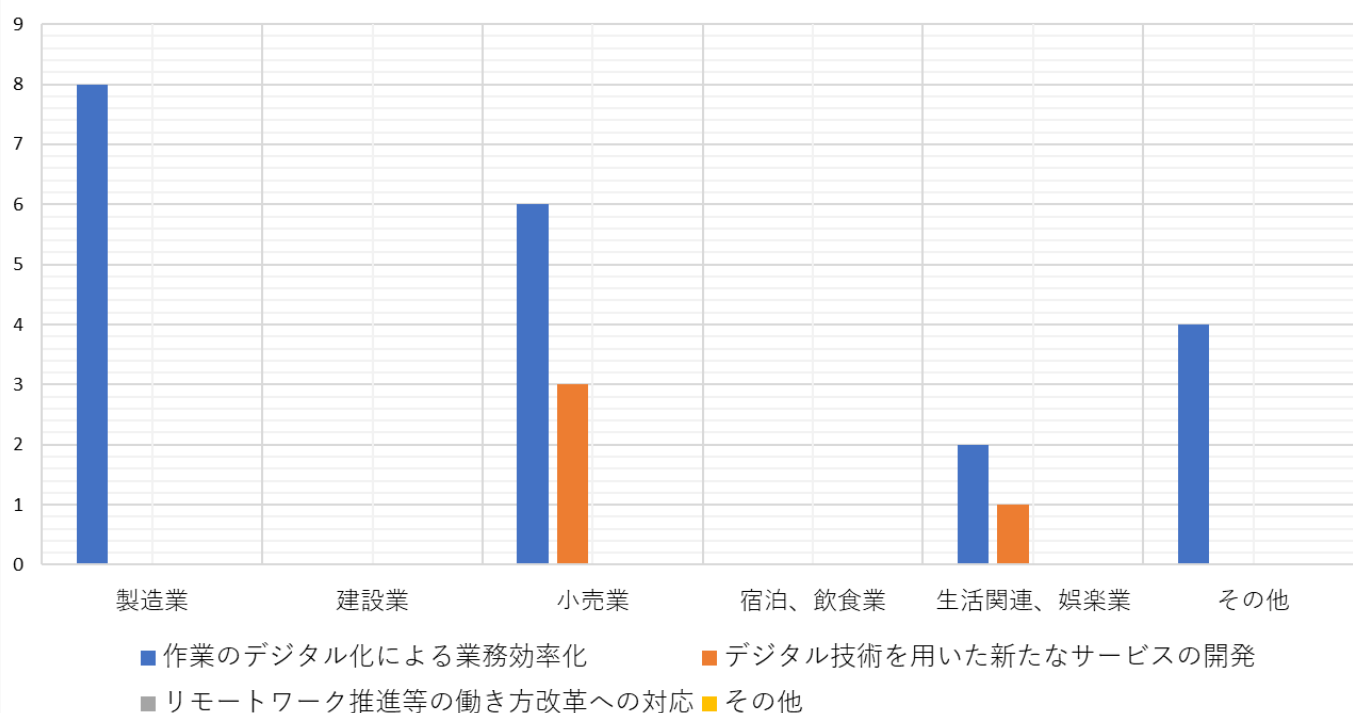
求める支援施策においては、ほぼ全ての業種において「各種補助金の活用」を求める事業所が多く、次いで「資金繰り支援」が多い結果となっている。

5. DX化に関する取り組みについて



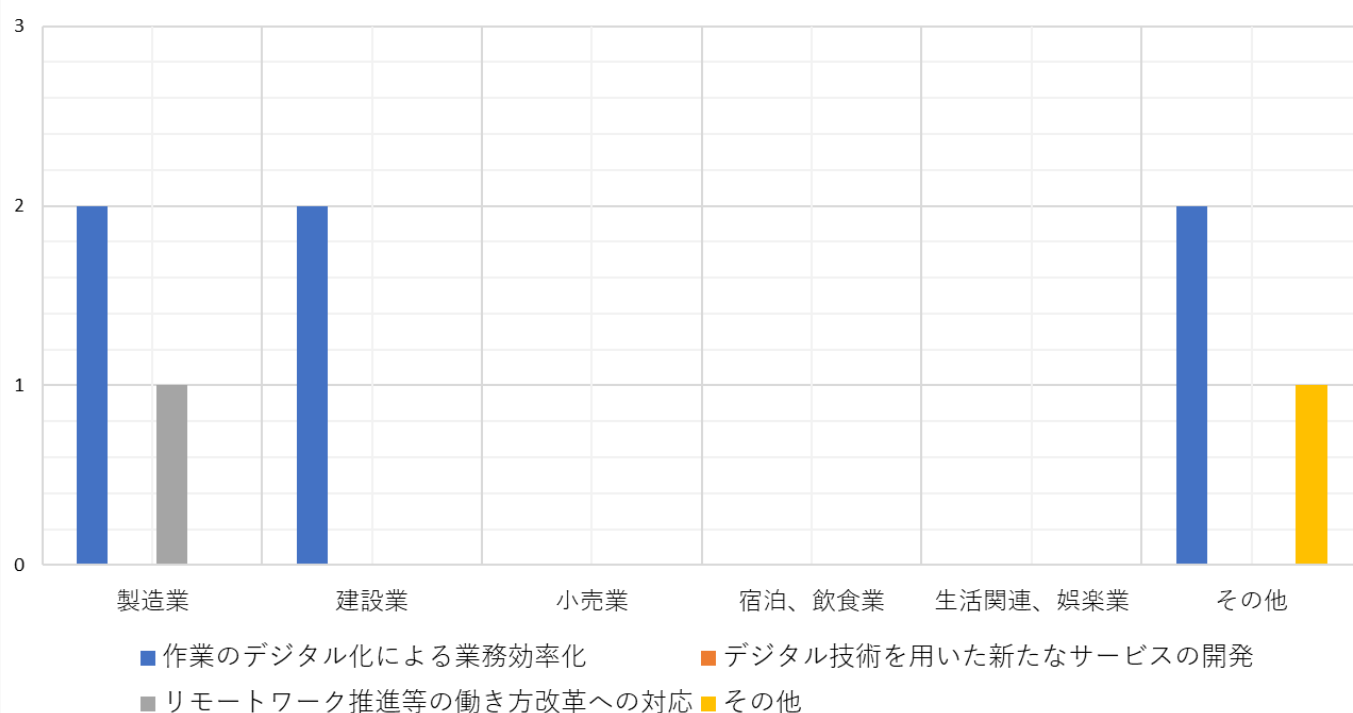
DX化に関する取り組みについては、全ての業種において「現在取り組みを行っておらず、今後も取り組み予定はない」と答えた事業所が目立つ。

取り組んでいる内容、または今後取り組みたいこと (問5で1を選択した人)



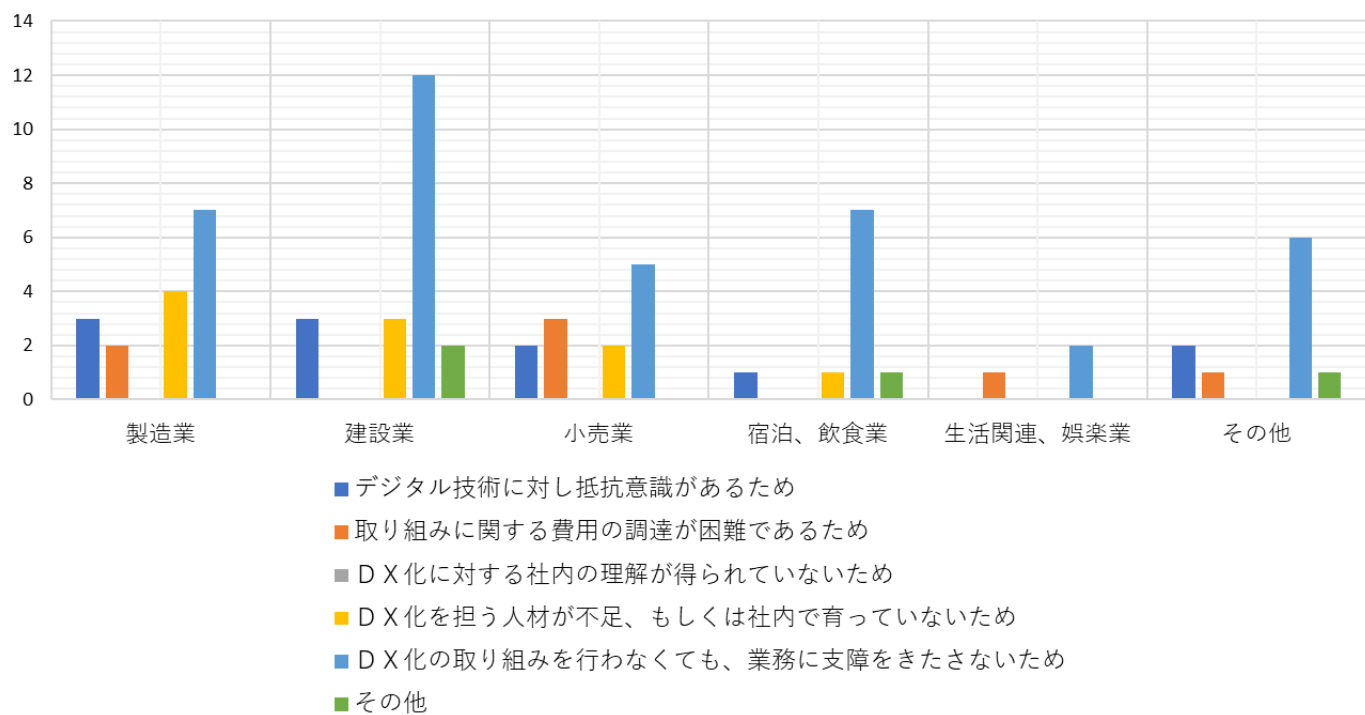
現在のDXへの取り組みについては、「作業のデジタル化による業務効率化」と回答した事業所が多い。

取り組んでいる内容、または今後取り組みたいこと (問5で2を選択した人)



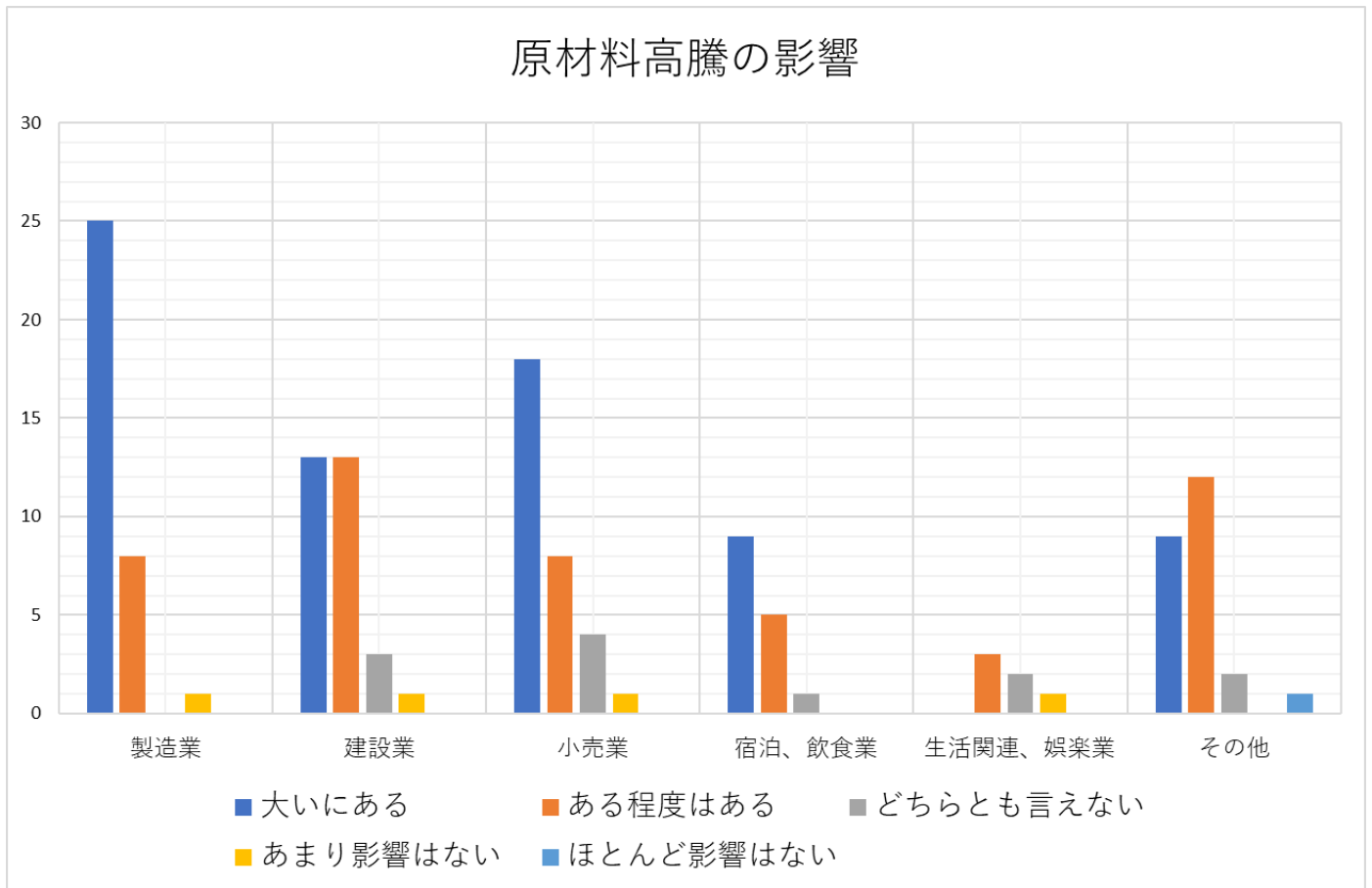
今後取り組みたい内容についても、「作業のデジタル化による業務効率化」と回答した事業所が多い。

取り組みを行っていない、または予定がない理由 (問5で3を選択した人)



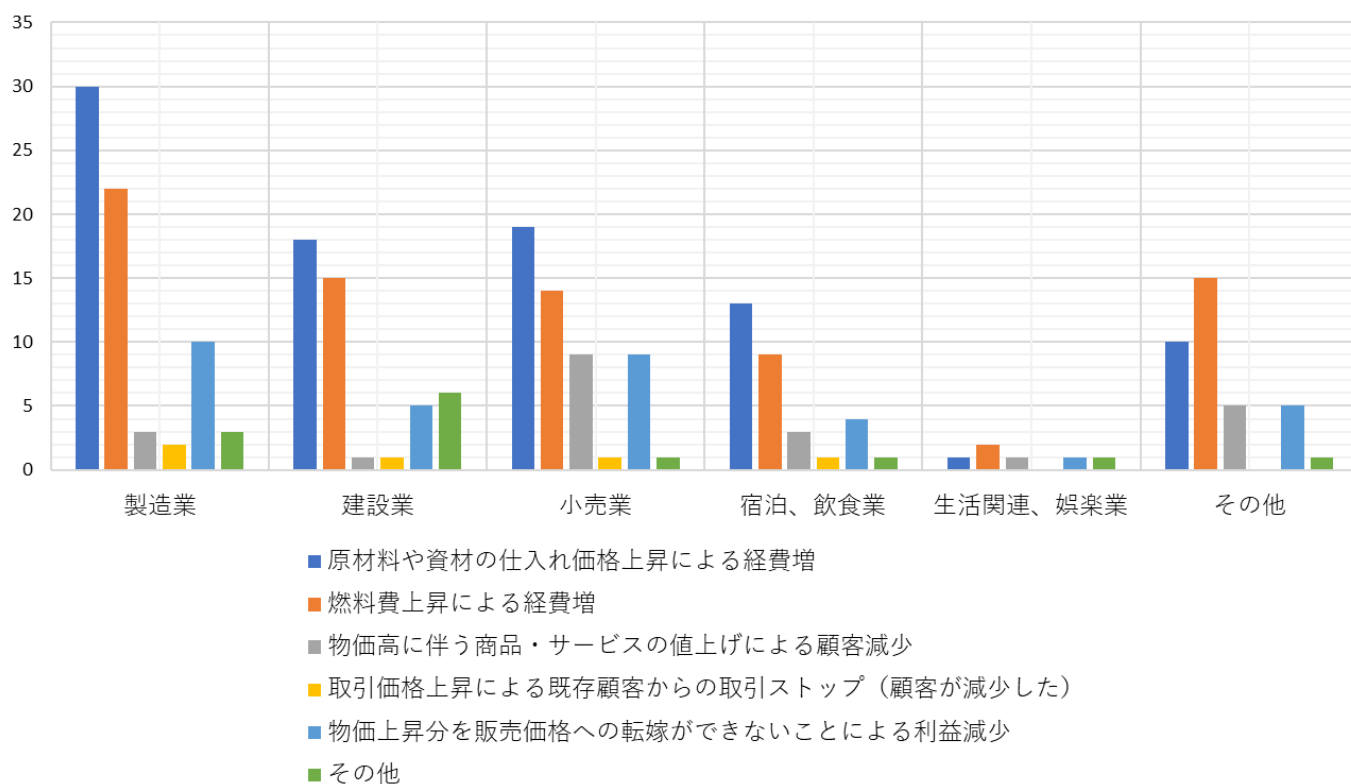
取り組みを行っていない、または予定が無い理由としては、「DX化の取り組みを行わなくても、業務に支障をきたさないため」と回答した事業所が多く、特にDX化をする必要性が見いだせないことが読み取れる。

6. 原材料高騰の影響について



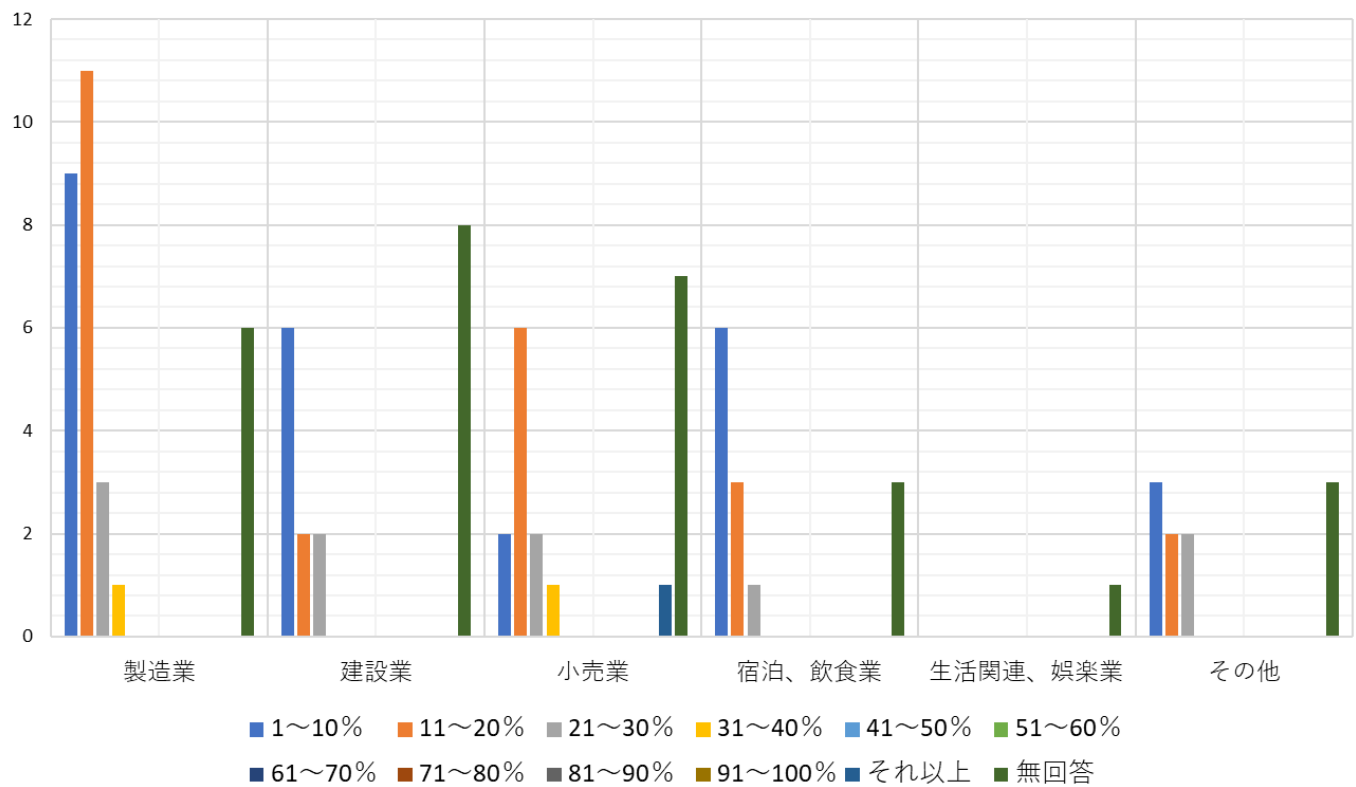
原材料高騰の影響については、特に製造業と小売業において「大いにある」と答えた事業所が多く、特に製造業、建設業、小売業が目立っている。

原材料高騰の具体的影響



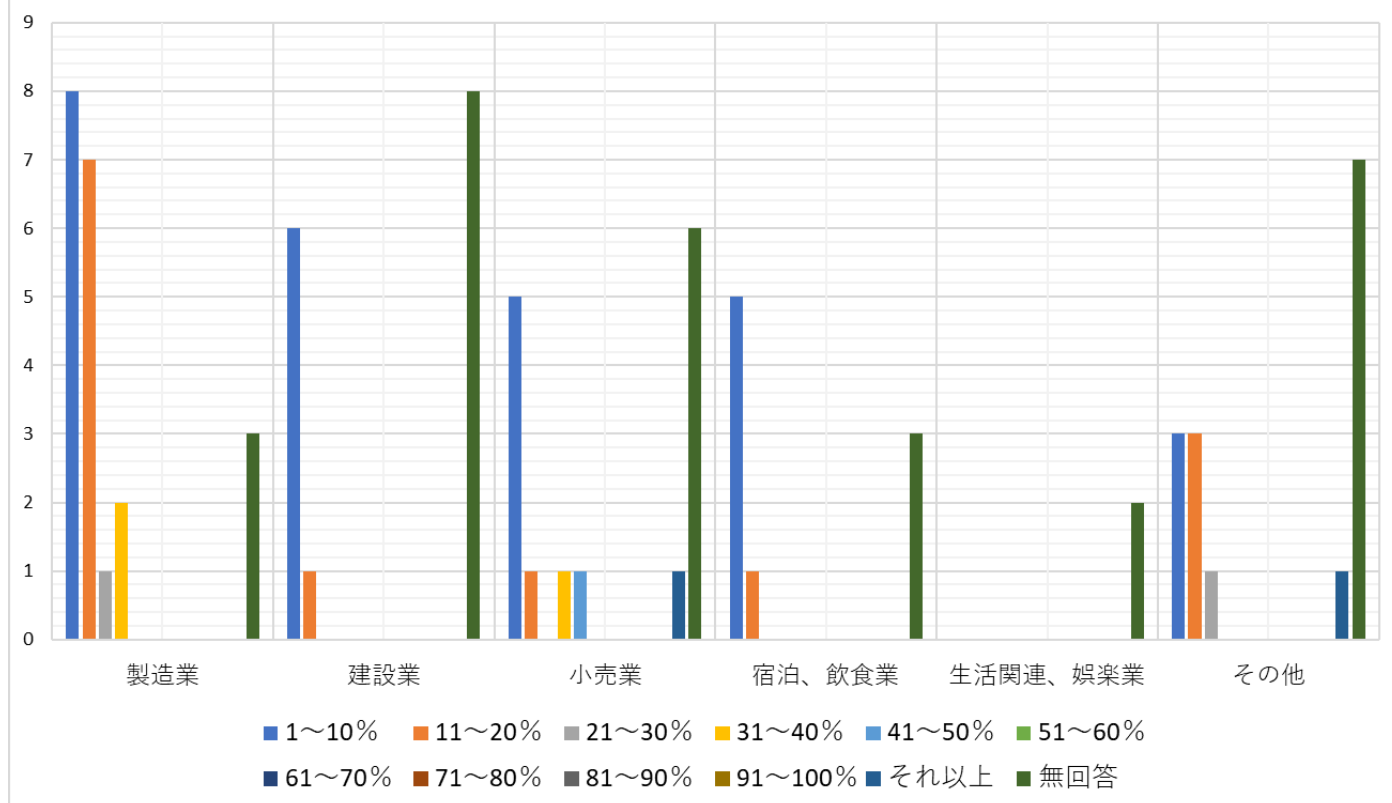
原材料高騰の具体的影響については、「原材料や資材の仕入れ価格上昇による経費増」と回答した事業所が多く、特に製造業での回答が多くなっている。

「原材料や資材の仕入れ価格上昇による経費増」増加率



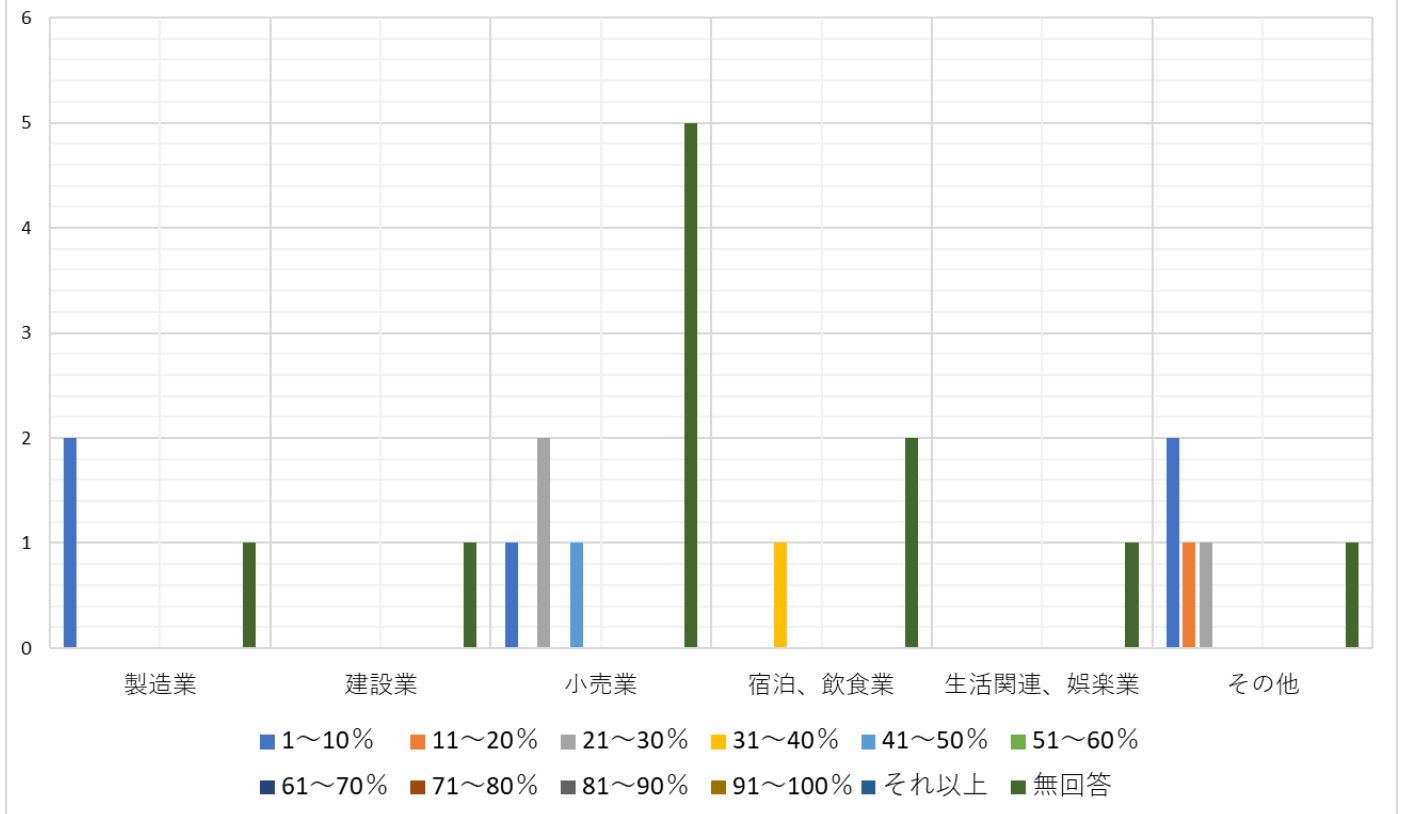
原材料や仕入れ価格上昇による経費の増加率は、「1～10%」「11～20%」と答えた事業所が多く、ほぼ全ての業種で影響が出ている。

「燃料費上昇による経費増」増加率



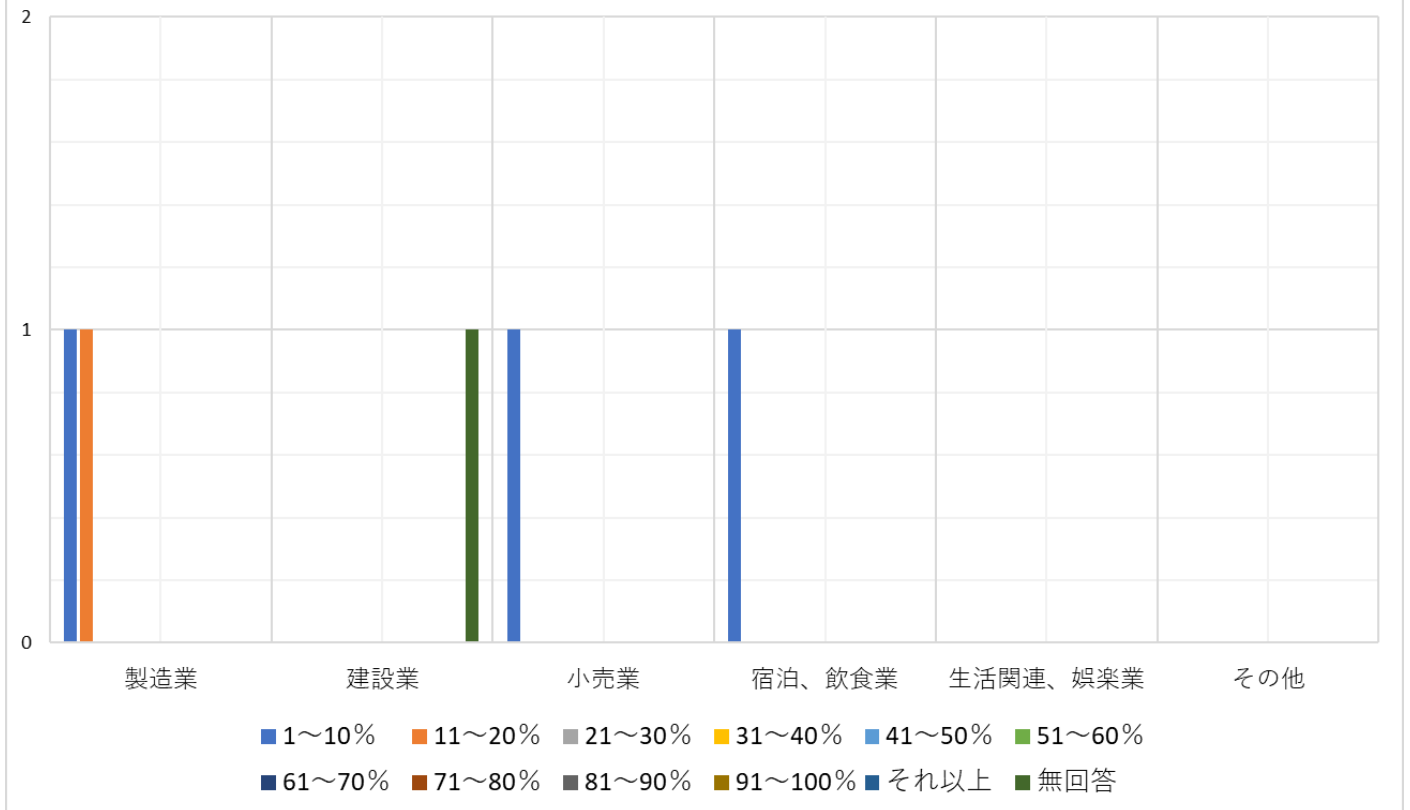
燃料費上昇による経費増加率においては「1~10%」「11~20%」と答えた事業所が多く、ほぼ全ての業種で影響が出ている。

「物価高に伴う商品・サービスの値上げによる顧客減少」減少率



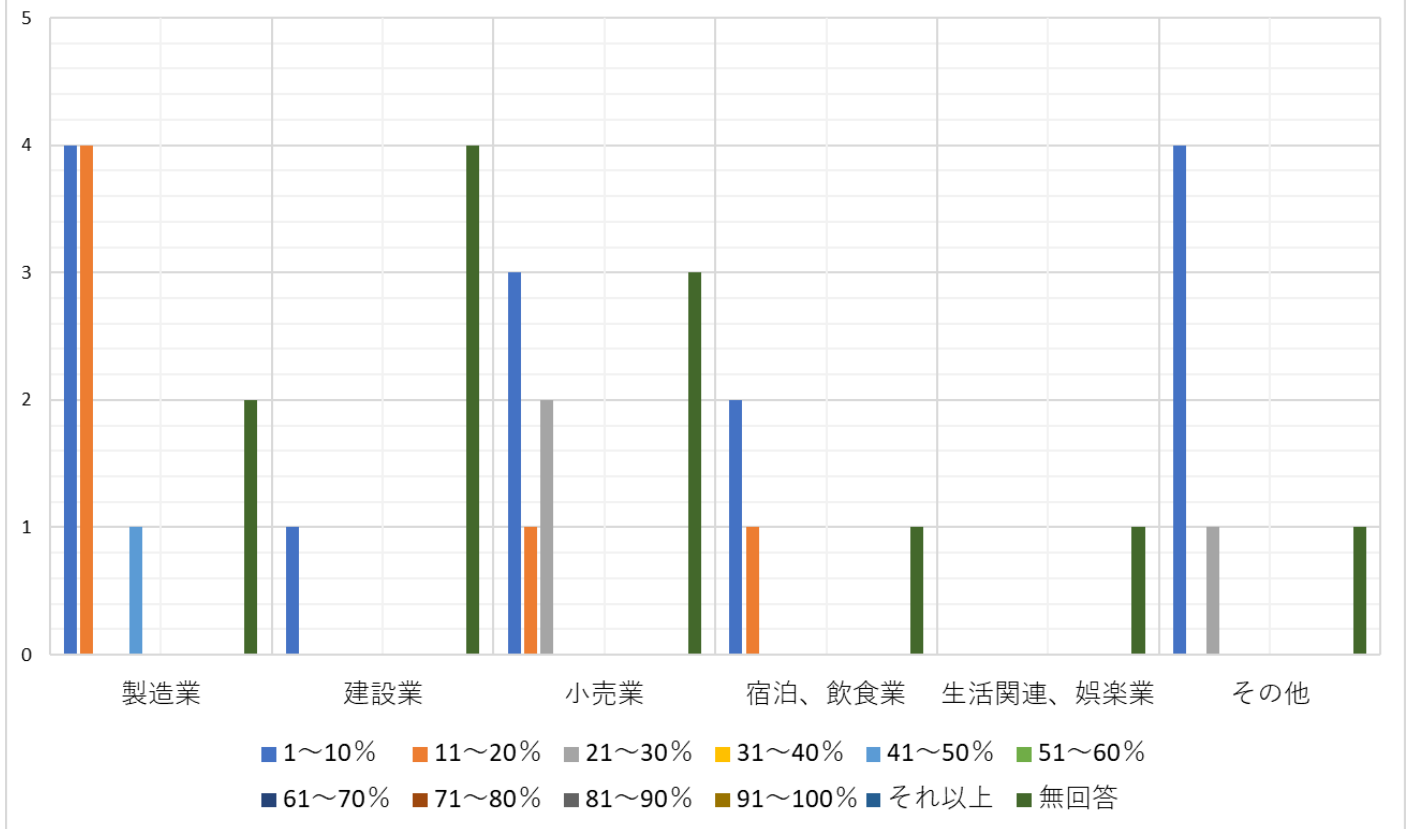
物価高に伴う商品・サービスの値上げによる顧客減少率は、全体的に1～30%ほど顧客が減少しているのが読み取れる。

「取引価格上昇による既存顧客からの取引ストップ」減少率



取引価格上昇による既存顧客からの取引ストップによる顧客減少率は、「1～10%」「11～20%」という回答が見られる。

「物価上昇分を販売価格への転嫁ができないことによる利益減少」減少率



物価上昇分を販売価格への転嫁ができないことによる利益減少率は、「1～10%」という回答が全体的に多く見られる。

7. 本会に対する要望

- ・いつも状況が苦しいときに助けてもらっています。
- ・会員の困事等こまめに事業所訪問をしてください。
- ・補助金などの情報を会員企業に多く提供してほしい。
- ・現在までの会運営の有り方は会員のための組織と運営と思われたい。
- ・異業種間交流事業の策定、推進。
- ・毎日準備している食材が無駄になる、客の減で。
- ・コロナ禍原材料の高騰等終息の見通せない状況の中、とりあえず目前の資金調達のため借入を行う。利子補給をしても売上減少の中、元金の返済がままならないため今後、廃業を含めた自己倒産も選択の一つと思うのでは？中小企業が減少する中事業税・会費等の収入も減って行くことからもう少し補助金等で立て直しを図る方法はないのだろうか？※商工会として補助金等の施策はないのですか。未だアンケートより速攻性のある施策を求む。
- ・いつもありがとうございます。
- ・補助金の減額基準を見直してほしい（売り上げの減額基準）。
- ・コロナで仕入れが遅れることに加え石油の高騰で材料費が上がり仕入れと売り上げのバランスが取れず、、、、（要望ではありません）。
- ・指導等をお願いすると前段で3期分の財務諸表が求められるが何故必要なのか理解に苦しむときがある（経営分析をおねがいするのならわかるが。）販促指導やSNS、PCといった指導はもう少しハードルを下げても受講しやすくできないのか。

Ⅲ. 調査票

地域経済動向調査票

1. 地 区 (小牛田 ・ 南郷 ・ 涌谷)
2. 業 種 製造業 ・ 建設業 ・ 小売業 (衣料品 ・ 食料品 ・ 耐久消費財)
 宿泊、飲食業 ・ 生活関連、娯楽業 ・ その他 ()
3. 企業形態 個人 ・ 法人
4. 営業年数 _____年
5. 事業主年代 20代 ・ 30代 ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代 ・ 70代 ・ 80代以上
6. 後継者 (有 ・ 無 ・ 未定 ・ 承継済) ※後継者無しの場合、今後の継続予定年数 _____年
7. 今期の現況 (各項目ごとに○を付けて下さい。令和3年と令和4年の比較をお願いします。)

調査項目		増加	不変	減少
売上高	前年比	3	2	1
	今後の見通し	3	2	1
客単価	前年比	3	2	1
	今後の見通し	3	2	1
利用客数	前年比	3	2	1
	今後の見通し	3	2	1
仕入単価	前年比	3	2	1
	今後の見通し	3	2	1
従業員数	前年比	3	2	1
	今後の見通し	3	2	1
借入金	前年比	3	2	1
	今後の見通し	3	2	1
設備投資	前年比	3	2	1
	今後の見通し	3	2	1

調査項目		好転	不変	悪化
資金繰り	前年比	3	2	1
	今後の見通し	3	2	1
採算性	前年比	3	2	1
	今後の見通し	3	2	1
業 況	前年比	3	2	1
	今後の見通し	3	2	1

8. 現在直面している課題（下記よりお選び下さい。いくつでも可）

売上減少・仕入(原材料費)の高騰・経費増・人件費増・競合激化・資金繰り
取引先の減少・消費者ニーズへの対応・店舗、施設の老朽化・人材確保、育成
新分野進出・情報化の推進・経費削減・金利負担の増加・後継者の育成、継承
事業縮小・経営組織の見直し・その他（ ）

《具体的内容を差し支えなければ教えてください》

9. 現在直面している課題の解決に向けて貴社が行っている取り組みについて（自由意見）

10. 新型コロナウイルス感染症、DX（デジタルトランスフォーメーション）、物価高に関するアンケート
＜新型コロナウイルス感染症についてのアンケート＞

新型コロナウイルス感染症の感染者は、ワクチンの普及もあり一時は減少傾向にありましたが、現在再び感染者が増加傾向にあり、第7波の到来と言われております。このような状況を踏まえて、現在の状況や、今後の支援に対する要望等についてお聞きします。

問1 新型コロナウイルス感染症の影響について伺います。コロナ禍前（令和元年）と比べ、令和3年の業績はどうでしたか。

- 大きく悪化（売上 %減）
- やや悪化した（売上 %減）
- 変わらない
- やや改善した（売上 %増）
- 大きく改善（売上 %増）

問2 新型コロナウイルス終息後の見通しについて伺います。

- コロナ禍前より、業績が向上する
- コロナ禍前と同等の業績に戻る
- コロナ禍前の業績には戻らないが現在よりは改善する
- 現状と変わらない
- 現状より悪化する
- わからない

問3 新型コロナウイルス感染症対策について、現在どのような影響が出ているかをお聞きます。

(複数回答可)

- 顧客数の減少
- 現地サプライヤーからの仕入れが困難
- 取引先の業務停止・休業等の発生
- 商品等入荷の遅れ、欠品
- 商品等出荷の遅れ
- 工事や業務等の休止・中止
- 宿泊・飲食業の予約キャンセルの発生
- 感染リスクを避けるための社員の勤務形態変更（時短、テレワーク等）
- 人材の確保が困難
- 関連商品（製品、部品、原材料含む）の値上がり
- 資金繰りが困難
- 設備等の投資計画の遅れ
- その他（ ）

問4 今後の新型コロナウイルスの影響を鑑み、御社が求める支援施策についてお聞きます。

- 資金繰り支援（既往債務の相談、新たな借入）
- 各種補助金の活用（持続化補助金、事業再構築補助金等）
- 業務環境の整備（テレワーク環境の整備等）
- 販路開拓の支援（商談会等）
- その他（ ）

<DX（デジタルトランスフォーメーション）に関するアンケート>

近年、DX（※デジタルトランスフォーメーションの略。企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。一例として業務の生産性向上・コスト削減、新たなサービス、ビジネスモデルの開発、働き方改革といった事柄への対応が可能となる）という言葉が出てきておりますが、DXについての御社の現況についてお尋ねします。

問5 DX化に関する取り組みを行っていますか。また今後行う予定はございますか。

- 現在取り組みを行っている ⇒問6へ進む
- 現在取り組みは行ってはいないが、今後取り組んでいきたいと考えている ⇒問6へ進む
- 現在取り組みを行っておらず、今後も取り組む予定はない ⇒問7へ進む

問6 問5で「現在取り組みを行っている」「現在取り組みは行ってはいないが、今後取り組んでいきたいと考えている」と回答した方にお聞きます。現在取り組みを行っている内容、または今後取り組んでいきたいと考えていることはどのようなことでしょうか。（御社が特に取り組みたいと考えているものを1つお答えください）

- 作業のデジタル化による業務効率化（例：作業の自動化、書類のペーパーレス化）
- デジタル技術を用いた新たなサービスの開発
- リモートワーク推進等の働き方改革への対応
- その他（ ）

問7 問5で「現在取り組みを行っておらず、今後も取り組む予定はない」と回答した方にお聞きします。取り組みを行っていない、またはその予定がない理由を教えてください。(御社の意見に最も近いものを1つお答えください)

- デジタル技術に対し抵抗意識があるため
- 取り組みに関する費用の調達が困難であるため
- DX化に対する社内の理解が得られていないため
- DX化を担う人材が不足、もしくは社内で育っていないため
- DX化の取り組みを行わなくても、業務に支障をきたさないため
- その他 ()

<原材料高騰に関するアンケート>

現在、原油や天然ガスなど資源価格の上昇や急激な円安による輸入価格の高騰などの要因により原材料が上昇傾向にあり、私たちの生活や企業運営に少なからず影響を及ぼしております。このことを踏まえ、御社の物価高への影響についてお尋ねします。

問8 現在、御社において原材料高騰による影響はどの程度ございますか。

- 大いにある
- ある程度はある
- どちらとも言えない
- あまり影響はない
- ほとんど影響はない

問9 問8で「大いにある、またはある程度ある」と回答した方にお聞きします。具体的にどのような影響がございますか。また、前年と比べてどの程度増減がございますか。(複数回答可)

- 原材料や資材の仕入れ価格上昇による経費増 (前年比 %増)
- 燃料費上昇による経費増 (前年比 %増)
- 物価高に伴う商品・サービスの値上げによる顧客減少 (前年比 %減)
- 取引価格上昇による既存顧客からの取引ストップ (顧客が減少した) (前年比 %減)
- 物価上昇分を販売価格への転嫁ができないことによる利益減少 (前年比 %減)
- その他 (例: 資材等が入手困難になっている) ()

11. 本会に対する要望等 (自由意見)

ご協力ありがとうございました。